

第76回分析化学討論会

研究発表プログラム

- この講演プログラム4月8日現在のものです。
- 座長は当日に変更になる場合もあります。
- 口頭発表の講演時間は、主題講演15分(講演12分, 討論3分), 一般講演15分(講演12分, 討論3分), テクノレビュー講演30分(講演25分, 討論5分)です。なお、主題講演(依頼講演)は20分(講演15分, 討論5分)です。
- ポスター発表の発表時間は以下のようになります。
午前 掲示可能時間
09:00～11:30 コアタイム 09:30～11:00 (90分)
午後 掲示可能時間
13:30～16:00 コアタイム 14:00～15:30 (90分)
- 講演の発表者(登壇者)に○印を付けています。
- 口頭発表のPC設定時間は10分です。
- 討論主題講演(依頼講演を含む)の末尾には「*」を、テクノレビュー講演の末尾には「T」を付けています。
ポスター発表の場合には、一般講演ポスター発表(テクノレビュー・産業界交流ポスター講演を含む)は「P」、若手講演ポスター発表は「Y」と明記しています。
なお、産業界交流ポスター講演の末尾には「S」を付けています。
- 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが、所属略称等は修正している場合があります。
- 会場の都合等で講演プログラムを変更する場合があります。

【 A 会 場 】

第1日(5月28日)

座長 加藤 大

- 【依頼講演】** A1001* (9:30～9:50) 非侵襲的試料による疾病診断(静岡県大薬)○豊岡 利正
- A1002* (9:50～10:05) パーキンソン病疾患の皮膚ガスGC/MS測定からの重度の推定と疾病関連化合物の探索(Ⅲ)(ピコデバイス¹・名大医²・東大薬³)○津田 孝雄¹・平山 正昭²・大野 欽司²・角田 誠³
- 【依頼講演】** A1003* (10:05～10:25) シアリダーゼを利用したインフルエンザウイルスの蛍光イメージング剤の開発(静岡県大薬¹・広島国際大薬²)○高橋 忠伸¹・紅林 佑希¹・大坪 忠宗²・池田 潔²・南 彰¹・鈴木 隆¹

座長 小川 数馬

- A1004* (10:25～10:40) 反応熱分解GC/MSを利用した冬虫夏草の成長に伴うコルジセピン含有量の変化の解析(中部大応生¹・東海植物²)○石田 康行¹・岩田 由稀¹・前村 佳那¹・近藤 幸盛²
- 【依頼講演】** A1005* (10:40～11:00) 医療貢献を目指したナノ粒子とその分析法の開発(東大院薬)○加藤 大
- 座長 豊岡 利正
- 【依頼講演】** A1006* (11:00～11:20) イメージング質量分析の医療への貢献(阪大院工)○新間 秀一
- 【依頼講演】** A1007* (11:20～11:40) PETイメージングの医療への貢献(金沢大新学術)○小川 数馬

座長 石濱 泰

- 【依頼講演】** A1008* (13:30～13:50) マルチターン飛行時間型質量分析計で切り拓くオンサイトマスマスペクトロメトリー(阪大院理)○豊田 岐聡
- 【依頼講演】** A1009* (13:50～14:10) 機能性ナノ粒子を用いたレーザー脱離イオン化質量分析の展開(関西大化学生命)○川崎 英也・荒川 隆一
- A1010* (14:10～14:25) レーザーイオン化を用いた高分解質量分析技術の開発(新日鐵住金¹・日鉄住金テクノロジー²)○辻 典宏¹・藤部 康弘¹・鈴木 哲也²・西藤 将之¹

座長 川崎 英也

- A1011* (14:25～14:40) 低温プラズマ表面付着物質量分析におけるプロトン化に水素添加が与える影響の調査(東工大院¹・科警研²)○相田 真里¹・掛川 賢¹・名見耶 友樹²・宮原 秀一¹・瀬戸 康雄²・沖野 晃俊¹

- 【依頼講演】** A1012* (14:40～15:00) 次世代メタボロミクスの技術開発と応用(九大生医研)○和泉 自泰

- A1013* (15:00～15:15) ミクロスケール電気泳動を用いた微量生体試料の高感度分析(理研QBiC)○川井 隆之・太田 亘俊・田中 陽

[PC設定時間]

座長 川井 隆之

- 【依頼講演】** A1014* (15:25～15:45) マスマスペクトルから見つける環境中人為物質(鳥取環境大)○山本 敦史

- 【依頼講演】** A1015* (15:45～16:05) 高分離能LCと高分解能MSのハイファネーションによる超高分離分析システムの実現とその応用(京大院薬)○石濱 泰

- A1016* (16:05～16:20) 自閉症スペクトラム障害のバイオマーカーに関する研究(高知大複合領域科学)○蒲生 啓司

第2日(5月29日)

座長 小澤 岳昌

- 【依頼講演】** A2001* (9:30～9:50) 2030年の将来社会ビジョン実現とグローバル課題解決のための分析化学(名大院工¹・名大先端ナノバイオ研セ²・産総研健康工学³)○馬場 嘉信^{1,2,3}

- 【依頼講演】** A2002* (9:50～10:10) 近未来における分離科学の新展開(京大院工)○大塚 浩二

- A2003* (10:10～10:25) ストレス計測評価用バイオセンシングデバイスの研究開発(Ⅲ):フレキシブル有機トランジスタ型バイオセンサの基礎検討(産総研¹・山形大院理工²・埼玉工大先端研³)○脇田 慎一¹・南 豪²・南木 創²・佐々木 由比²・栗田 僚二¹・丹羽 修³・時任 静士²

- 【依頼講演】** A2004* (10:25～10:45) 外から見た日本の分析化学(東大院工)○北森 武彦

座長 馬場 嘉信

- 【依頼講演】** A2005* (10:45～11:05) 生体分子の可視化と光操作法から展望する未来の光分析技術(東大院理)○小澤 岳昌

- A2006* (11:05～11:20) 抗体フリーかつ非標識なタンパク質検出を指向した有機トランジスタ型化学センサの開発検討(山形大院理工)○南 豪・南木 創・佐々木 由比・時任 静士

- 【依頼講演】** A2007* (11:20～11:40) 蛍光プローブライブラリーを活用した新たな臨床イメージング技術の創製(東大院薬¹・東大院医²・AMED CREST³)○浦野 泰照^{1,2,3}

座長 勝又 英之

A2008 (13:30～13:45) 過酸化水素分析試薬としてのチタン(IV)-4-(2-ピリジルアゾ)-レソルシノール：錯体の呈色反応機構の検討(東薬大¹・東北大多元研²) ○高村 喜代子¹・松本 高利²

A2009 (13:45～14:00) リン酸認識能を有するクマリン型蛍光プローブ修飾シクロデキストリンセンサーの機能評価(上智大理工) ○藤原 章司・山田 樹・橋本 剛・早下 隆士

A2010 (14:00～14:15) フェロシアン化カリウムによる土壌セシウム除去におけるナノダイヤの添加効果(ビジョン開発¹・上智大理工²) ○松本 和子^{1,2}・大和 秀行¹・秋田 政一¹・藤村 忠正¹

A2011 (14:15～14:30) 当量点決定を伴う滴定法による高純度炭酸カルシウムの純度評価(産総研) ○鈴木 俊宏・野々瀬 菜穂子・三浦 勉

[PC設定時間]

座長 橋本 剛

A2012 (14:40～14:55) メタノール溶媒中におけるTiO₂光電極使用したCO₂の光電気化学的還元特性の評価(三重大院工¹・三重大国際環境教育セ²) ○山本 達彦¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡¹

A2013 (14:55～15:10) MoS₂/g-C₃N₄/Ag₃PO₄三元系光触媒の可視光活性(三重大院工¹・三重大国際環境教育セ²) ○松田 隼門¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡¹

A2014 (15:10～15:25) 炭素粒子担持窒化炭素による光触媒的水素生成(三重大院工¹・三重大国際環境教育セ²) ○中井 優人¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡¹

A2015 (15:25～15:40) Pd/ZnOによるギ酸水溶液からの水素生成法の開発(三重大院工¹・三重大国際環境教育セ²) ○江川 有輝¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡¹

座長 野々瀬 菜穂子

A2016 (15:40～15:55) ナノゼロ価鉄担持イオン交換樹脂による染料の脱色(三重大院工¹・三重大国際環境教育セ²) ○Zhinbin Yang¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡^{1,2}

A2017 (15:55～16:10) 含窒素化合物とKMnO₄による化学発光の研究(阪工大工) ○坂田 優太・藤森 啓一・森内 隆代・澁谷 康彦

A2018 (16:10～16:25) 高知県産生姜含有微量成分に関する分析化学的研究(東海学院大管理栄養¹・高知大教育²・坂田信夫商店³・高知県大健康栄養⁴) ○守川 耕平¹・市川 喬一郎²・水田 晶容³・渡邊 浩幸⁴・西脇 芳典²・蒲生 啓司²

【 B 会 場 】

第1日(5月28日)

座長 加地 範匡

【依頼講演】B1001* (9:00～9:20) ナノポア1分子解析：1分子科学の新潮流(阪大産研) ○大城 敬人

B1002* (9:20～9:35) 「Nano-in-Nano」超高精度ナノ集積化技術を駆使したデジタル化ナノチャネル分析(阪府大) ○許 岩

B1003* (9:35～9:50) 金ナノ粒子凝集の一分子観察による、タンパク質高感度検出(愛媛大院理工(理)化¹・愛媛大院理工(工)応化²・愛媛大PROS³・理研前田バイオ工学⁴) ○座古 保^{1,4}・大國 烈¹・二艘木 優充²・前田 瑞夫⁴・小川 敦司³・朝日 剛²

B1004* (9:50～10:05) 一塩基突出型の二重鎖DNA修飾金ナノ粒子を用いる一塩基多型目視識別法(理研前田バイオ工学¹・東理大基礎工教養²) ○秋山 好嗣^{1,2}・白石 翔大¹・王国慶¹・鹿川 翔裕¹・金山 直樹¹・宝田 徹¹・前田 瑞夫¹

B1005* (10:05～10:20) ゲルろ過クロマトグラフィーによる表面修飾金ナノ粒子の簡易な精製法の提案(秋大院工学資源) ○田村 周士・松村 洋寿・尾高 雅文・小川 信明

[PC設定時間]

座長 大城 敬人

B1006* (10:30～10:45) 高感度エピゲノム解析のための細胞前処理用マイクロ化学システムの開発(マイクロ化学技研¹・東大工²・九大医³) ○田澤 英克¹・竹井 寛子¹・三浦 美希³・三浦 史仁³・馬渡 和真²・北森 武彦²・伊藤 隆司³

B1007* (10:45～11:00) 微粒子を導入したCE-SELEXと次世代シーケンサーを併用する高効率かつ迅速な核酸アプタマー選抜法の開発(東大院総文広域生命¹・埼玉大院理工²・日産化学工業³) ○和久井 幸二¹・土田 真帆²・齋藤 伸吾²・渋川 雅美²・古性 均³・吉本 敬太郎¹

B1008* (11:00～11:15) 単一生細胞分析のための拡張ナノflサンプリングデバイスの開発(東大工バイオエンジニア¹・東大工応化²・東工大原子炉工学研³) ○林 玲¹・馬渡 和真²・森川 響二郎³・北森 武彦^{1,2}

B1009* (11:15～11:30) マイクロ流体デバイスを用いた細胞診断技術の開発(名大院工¹・名大院理²・名大先進ナノバイオ研セ³・産総研健康工学研⁴) ○加地 範匡^{1,2,3}・佐野 麻美子^{1,3}・安井 隆雄^{1,3}・馬場 嘉信^{1,3,4}

B1010* (11:30～11:45) 機能性材料とマイクロバナーニングを用いる上皮間葉転換現象における細胞外環境の寄与の分析(物材機構) ○中西 淳・Saw Marlar・Shimaa Abdelaleem

座長 久保 拓也

【依頼講演】B1011* (13:30～13:50) 生体成分を認識する分子インプリントナノ材料の新展開(神戸大院工) ○竹内 俊文

B1012* (13:50～14:05) ポリマー膜上に形成されたマイクロ空間を利用したバイオセンシング(阪府大院工¹・N2RC²・阪府大院理³) ○床波 志保¹・清水 恵美¹・椎木 弘¹・長岡 勉¹・中瀬 生彦²・飯田 琢也³

B1013* (14:05～14:20) 分子インプリントポリマーによるストレスマーカー高感度センシングシステムの構築(神戸大院工) 須田 誠人・○砂山 博文・高野 恵里・北山 雄己哉・竹内 俊文

B1014* (14:20～14:35) 特異的リガンド分子を相互作用部位とした血管内皮細胞増殖因子認識ナノ空間の構築(神戸大院工) ○香門 悠里・北山 雄己哉・竹内 俊文

[PC設定時間]

座長 安川 智之

【依頼講演】B1015* (14:45～15:05) ナノピラーデバイスによる超高性能生体分析(名大院工¹・名大先端ナノバイオ研セ²・産総研健康工学³) ○馬場 嘉信^{1,2,3}

B1016* (15:05～15:20) 温度応答性ナノ表面の精密設計による温度応答性クロマトグラフィーの開発(慶大薬) ○蛭田 勇樹・南雲 悠平・金澤 秀子

B1017* (15:20～15:35) 高次フラレン固定化モノリスカラムの分離特性評価(京大院工¹・信和化工²) ○久保 拓也¹・金尾 英佑¹・小林 宏資²・内藤 豊裕¹・大塚 浩二¹

B1018* (15:35 ~ 15:50) ダブルスウィーピングに基づく高感度電気泳動酵素活性アッセイ (阪府大院工) ○讃岐 僚太・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明

B1019* (15:50 ~ 16:05) 脂質ナノ薄膜を分離場とする生体物質の分離法の創成 (阪大院基礎工) ○岡本 行広・辻本 悠亮・菅 恵嗣・馬越 大

[PC設定時間]

座長 岡本 行広

[依頼講演] B1020* (16:15 ~ 16:35) ナノ電気化学発光プローブを用いるバイオセンシング (阪大工) ○民谷 栄一

B1021* (16:35 ~ 16:50) LSI型電極アレイによる電気化学イメージングのカラー化 (東北大院環境¹・東北大 μ SIC²・日本航空電子³・東北大WPI-AIMR⁴) ○菅野 佑介¹・伊野 浩介¹・阿部 博弥¹・井上 (安田) 久美¹・松平 昌昭²・須田 篤史³・國方 亮太³・珠玖 仁¹・末永 智一¹⁴

B1022* (16:50 ~ 17:05) グラフェン微小電極の作製および電気化学特性の評価 (NTT物性基礎研) ○上野 祐子・手島 哲彦・Ziyan Xu・古川 一暁

B1023* (17:05 ~ 17:20) マイクロディスク電極を利用した誘電泳動による細胞配列 (兵庫県大院物質理学) ○安川 智之・後藤 卓真・田中 泰周・水谷 文雄

B1024* (17:20 ~ 17:35) 交互配列磁場型マイクロチップ電磁泳動を用いた水性二相マイクロフロー中における微粒子の挙動制御 (名工大院工) ○飯國 良規・田村 零央・大谷 肇

第2日 (5月29日)

座長 清水 久史

[依頼講演] B2001* (9:00 ~ 9:20) マイクロ環境分析デバイス：重金属分析の新潮流 (電力中研) ○青田 新

B2002* (9:20 ~ 9:35) マイクロ水滴の界面機能制御と生体分子選択濃縮 (京工織大大学戦略推進機構系¹・京工織大院工芸科学²・東工大院理工³) ○福山 真央¹・吉田 裕美²・前田 耕治²・火原 彰秀³

B2003* (9:35 ~ 9:50) ナノ微粒子支援型レーザー脱離イオン化質量分析法の開発とその応用 (福井県大) ○平 修・小森 花香・片野 肇

B2004* (9:50 ~ 10:05) マイクロ・ナノ構造体を利用した分子レーザーイオン化法の研究 (東洋大理工) ○藤野 竜也

B2005* (10:05 ~ 10:20) ガラスとPDMSにおけるパターンニング安定性の比較 (理研) ○船野 俊一・田中 信行・田中 陽

[PC設定時間]

座長 福山 真央

B2006* (10:30 ~ 10:45) フェムト秒レーザ加工を利用した光ファイバへのマイクロセルの埋め込みとインライン分光計測 (産総研¹・創価大²) ○合谷 賢治¹・白石 正彦²・関 篤志²・瀧脇 雄介¹・大家 利彦¹・渡辺 一弘²

B2007* (10:45 ~ 11:00) 1000 nmを超える近赤外光バイオイメージングに向けた蛍光プローブの開発 (東理大基礎工¹・東理大IFC²) ○上村 真生¹²・曾我 公平¹²

B2008* (11:00 ~ 11:15) 光導波路を用いたマッハツェンダー型光熱干渉計のオンチップ集積化 (東大院工¹・京大院工²) ○清水 久史¹・森田 裕樹¹・坂倉 政明²・下間 靖彦²・三浦 清貴²・平尾 一之²・馬渡 和真¹・北森 武彦¹

B2009* (11:15 ~ 11:30) 分子間相互作用測定のための蛍光偏光イメージングシステムの開発 (北大院総化¹・北大院工²・東大院理工³) ○若尾 撰¹・真栄城 正寿²・石田 晃彦²・谷 博文²・火原 彰秀³・渡慶次 学²

B2010* (11:30 ~ 11:45) レーザー誘起タンパク結晶化促進の顕微分光分析 (北大院総化¹・北大院理²) 吉松 泉¹・上田 恭子¹・三浦 篤志¹²・喜多村 昇¹²

座長 真栄城 正寿

[依頼講演] B2011* (13:30 ~ 13:50) 半導体発光素子による高感度バイオセンシング (横国大) ○馬場 俊彦

B2012* (13:50 ~ 14:05) ナノインプリント製TiO₂スラブ型フォトニック結晶センサーの開発と基礎特性評価 (阪府大院工) ○安藝 翔馬・前野 権一・末吉 健志・久本 秀明・遠藤 達郎

B2013* (14:05 ~ 14:20) オンチップ高分子フォトニック結晶によるSrイオンセンシング (東工大原子炉研) ○塚原 剛彦・朴 基哲

B2014* (14:20 ~ 14:35) インフルエンザの高感度なPOCTを実現する超高速リアルタイムPCRシステムの開発 (産総研) ○永井 秀典・古谷 俊介・鳴石 奈穂子・高原 悠佑・藤巻 真・粟津 浩一

B2015* (14:35 ~ 14:50) ポリマー製フォトニック結晶ナノ共振器の金属基板上への作製と光学センサー応用 (阪府大院工) ○前野 権一・安藝 翔馬・孫 佳儀・末吉 健志・久本 秀明・遠藤 達郎

[PC設定時間]

座長 永井 秀典

B2016* (15:00 ~ 15:15) マイクロデバイスによるタンパク質の立体構造解析 (北大院工¹・産総研製造プロセス²・北大院総化³・久留米大医⁴・佐賀大農⁵) ○真栄城 正寿¹²・山崎 翔平³・杉島 正一⁴・渡邊 啓一⁵・石田 晃彦¹・谷 博文¹・宮崎 真佐也²・渡慶次 学¹

B2017* (15:15 ~ 15:30) Encapsulinタンパク質ナノカプセルの構造・機能解析と分析・利用技術の開発 (秋大院工学資源¹・東農工大院工²) ○尾高 雅文¹²・田村 彰朗²・福谷 洋介²・藤井 基子²・高見 拓²・和田 穂¹・田村 周士¹・松村 洋寿¹・中口 雄貴²・野口 恵一²・村上 義彦²・小川 信明¹・養王 田正文²

B2018* (15:30 ~ 15:45) 抗体配向固定化微小反応板を内蔵したピペットチップによる腫瘍マーカーの蛍光バイオセンシング (神戸大院工) ○高野 恵里・竹内 俊文

B2019* (15:45 ~ 16:00) 光硬化性アクリルアミドゲルのピンポイント作製技術を用いる糖鎖の構造解析法の開発 (近畿大薬) ○山本 佐知雄・大西 翔太・鈴木 翔・木下 充弘・鈴木 茂生

[PC設定時間]

座長 塚原 剛彦

[依頼講演] B2020* (16:10 ~ 16:30) プラズモニクナノデバイス：形状異方性金属ナノ粒子を用いたセンシングの新潮流 (九大院工) ○高橋 幸奈・山田 淳

B2021* (16:30 ~ 16:45) 無電解メッキのreal-time膜厚変化観察法と光ファイバー表面プラズモン共鳴センサーの作製への応用 (東京薬大薬¹・首都大院都市環境²・メビウスAT³) ○東海林 敦¹・佐坂 徳成¹・内田 大貴¹・中村 邦彦¹・森田 健司¹・中島 美優²・辺見 彰秀³・中嶋 秀²・内山 一美²・柳田 顕朗¹

- B2022* (16:45～17:00) プラズモニックガスセンサーの構築
(横国大工) ○西島 喜明
- B2023* (17:00～17:15) 中空銀ナノシェルの簡便合成とプラズ
モンセンシングへの応用 (和歌山大システム工) ○門 晋平・
横峯 翔一・古谷 雄哉・矢嶋 稔子・木村 恵一
- B2024* (17:15～17:30) 貴金属ナノ構造体の分析応用における
課題 (東洋大生命) ○竹井 弘之

【 C 会 場 】

第1日 (5月28日)

座長 鳥村 政基

【依頼講演】 C1001* (9:30～9:50) ナノフローLC-MS/MSと
データベース検索をもちいたRNA転写後修飾の解析 (理研
CSRS) ○中山 洋

【依頼講演】 C1002* (9:50～10:10) 哺乳類遺伝子のポリシス
トロニック性を検証する (東工大バイオ) ○相澤 康則

【依頼講演】 C1003* (10:10～10:30) 大規模ノンコーディング
RNA解析を可能とする次世代シーケンサの活用 (産総研)
○谷 英典

座長 中山 洋

【依頼講演】 C1004* (10:30～10:50) モノリス型キャピラリー
デバイスを利用した核酸の精密分離分析技術の開発 (東葉大)
○梅村 知也・和田 堯之・青木 元秀・熊田 英峰

【依頼講演】 C1005* (10:50～11:10) RNA定量解析における妥
当性評価のための認証標準物質 (産総研物質計測標準) ○藤井
紳一郎

【依頼講演】 C1006* (11:10～11:30) RNA検出・細胞内イメー
ジングのための蛍光性核酸結合プローブの分子設計 (東北大院
理) ○西澤 精一

C1007* (11:30～11:45) ナノ空間を用いた体液中エクソソーム
の高効率捕捉 (名大工¹・九大先端研²・阪大産研³) ○安井 隆
雄¹・竹下 大貴¹・小中出 侑樹¹・伊藤 聡¹・柳田 剛²・加地 範
匡¹・金井 真樹²・長島 一樹²・川合 知二³・馬場 嘉信¹

座長 鈴木 真一

【依頼講演】 C1008* (13:30～13:50) 科学捜査への分析化学の
貢献 (科警研) ○瀬戸 康雄

【依頼講演】 C1009* (13:50～14:10) 違法薬物の分析 (星葉大)
○斉藤 貢一

【依頼講演】 C1010* (14:10～14:30) 毛髪中の薬物分析 (科警
研) ○宮口 一

C1011* (14:30～14:45) ルテニウム錯体 (Ru(bpy)₃²⁺) を用い
たメトキシフェナミン鎮咳成分の電気化学及び電気化学発光挙
動の解析 (信州大理¹・信州大環エネ研²) ○新田 咲¹・巽 広
輔¹・金 継業¹・樋上 照男¹・高橋 史樹²

【PC設定時間】

座長 阪柳 正隆

【依頼講演】 C1012* (14:55～15:15) 理工学の科学捜査への応
用 (科警研) ○黒木 健郎

C1013* (15:15～15:30) 蛍光X線分析による微量分析と元素イ
メージングおよび法科学試料への適用可能性 (阪市大院工)
○辻 幸一・松野 剛士・瀧本 雄毅・山梨 眞生

C1014* (15:30～15:45) 改重回帰分析法 (DCR) と最終主成
分得点法 (LPS) との関係 (愛知県警科捜研¹・数値解析研²)
○奥山 修司¹・三井 利幸²

C1015* (15:45～16:00) 改重回帰分析法と最終主成分分析法の
ための測定値の補正方法 (数値解析研¹・愛知県警科捜研²)
○三井 利幸¹・奥山 修司²

座長 瀬戸 康雄

【依頼講演】 C1016* (16:00～16:20) 犯罪捜査に関わる油類の
分析 (千葉県警科捜研) ○金子 毅

【依頼講演】 C1017* (16:20～16:40) 科学捜査における繊維鑑
定と分析化学 (神奈川県警科捜研) ○阪柳 正隆

【依頼講演】 C1018* (16:40～17:00) 将来の科学捜査と分析化
学 (科警研) ○鈴木 真一

第2日 (5月29日)

座長 鳥羽 陽

【依頼講演】 C2001* (9:45～10:05) 水道水・環境水中の無機物
質と今後の動向 (国立保健医療科学院) ○浅見 真理

【依頼講演】 C2002* (10:05～10:25) 水中微量元素の高速分離
濃縮技術 (富山大院理工(工)) ○加賀谷 重浩

C2003* (10:25～10:40) 定量²⁷Al NMRによるアルミニウム系
水道用凝集剤の加水分解反応解析 (神戸大環境保全推進セ¹・
神戸大院工²) ○牧 秀志^{1,2}・坂田 元気²・水畑 稜²

座長 加賀谷 重浩

C2004* (10:40～10:55) 大気中暴露銅板の腐食層の化学分析と
大気環境の影響のモデル化—降水量, 気温, 地上オゾン濃度が
銅板腐食に与える影響— (兵庫教大自然¹・住友電工²・神戸大
院理³) ○尾関 徹¹・藤原 頌¹・中山 茂吉²・大塚 利行³

C2005* (10:55～11:10) 海水から大気への硫化ジメチルDMS
放出のダイナミクスを探る分析化学: シーケンシャル反応気化
—イオン分子反応質量分析による溶存および大気中ジメチル硫
黄化合物の変動解析 (熊本大院自然) ○戸田 敬・彌富 聡・江
副 健太郎・大平 慎一

【依頼講演】 C2006* (11:10～11:30) 異性体分析、光学異性体
分析を用いたPOPsの環境動態と運命予測 (阪大環境安全研
セ) ○中野 武

【依頼講演】 C2007* (11:30～11:50) 生体曝露評価に利用でき
る多環芳香族炭化水素類の代謝物分析 (金沢大医薬保) ○鳥羽
陽

座長 尾崎 幸洋

C2008 (13:30～13:45) 定量的菌周病診断を目指したフェロセ
ン化ペプチドプローブの最適化と電気化学的プロテアーゼアッ
セイ (九工大院工¹・九州歯科大²) 中原 敏貴¹・白井 通彦²・
中島 啓介²・西原 達次²・島本 準平¹・○佐藤 しのぶ¹・竹中
繁織¹

C2009 (13:45～14:00) 生体内カリウムイオンセンシングを志
向したペプチド-オリゴヌクレオチドコンジュゲート (PSO)
のペプチド長の検討 (九工大院工¹・阪大産研²) 坂元 直人¹・
松田 知己²・永井 健治²・佐藤 しのぶ¹・○竹中 繁織¹

C2010 (14:00～14:15) バニロイド受容性—過性受容器電位
チャンネルタンパク質 (TRPV1) の分子認識ドメインペプチド
の化学合成・ハイブリッド化によるバイオセンサー応用 (九大
院工) ○中野 幸二・堀内 潤・石松 亮一・今任 稔彦

C2011 (14:15～14:30) 分子認識/電子伝達性ペプチド固定化
マイクロビーズを用いたタンパク質センシング (前橋工科大
工¹・富山大院理工²) ○菅原 一晴¹・篠原 弘毅¹・倉光 英樹²

【PC設定時間】

座長 竹中 繁織

C2012 (14:40 ~ 14:55) Enzyme modified magnetic nanoparticles evaluated by electrochemiluminescence using electro-generated substrate on screen printed electrode (Osaka University Graduate School of Engineering) ○Yuki Inoue・Akiko Araki・Hiroyuki Yoshikawa・Masato Saito・Eiichi Tamiya

C2013 (14:55 ~ 15:10) Ex vivo ラマン分光イメージングによる骨芽組織分化過程の解析 (阪大工¹・阪大歯²) ○民谷 栄一¹・村上 伸也²

C2014 (15:10 ~ 15:25) DNA電気泳動ゲルの近赤外分光イメージング (関学大理工¹・東京工大大応用生物²) ○安田 充¹・苔口 祐佳¹・秋元 卓央²・尾崎 幸洋¹

C2015 (15:25 ~ 15:40) ラマン分光法を用いたマウス受精卵発生過程のモニタリング (関学大) ○石垣 美歌・橋本 剛佑・尾崎 幸洋・佐藤 英俊

座長 中野 幸二

C2016 (15:40 ~ 15:55) 高精度SPRを用いた表皮角化細胞ミトコンドリアの*in vivo*-like アッセイによる皮膚刺激測定方法の開発 (小名細胞アッセイ技研¹・九大院農²) 柴田 純子^{1,2}・小名 俊博^{1,2}

C2017 (15:55 ~ 16:10) 植物由来のPCR阻害物質に対する市販PCRキットの性能比較 (科警研) ○板宮 裕実・吉川 ひとみ・杉田 律子

C2018 (16:10 ~ 16:25) Rolling Circle Amplification (RCA) 法を利用した5-メチルシトシンの増幅検出法 (筑波大院数理工¹・産総研²) ○吉田 岳史^{1,2}・鈴木 博章¹・栗田 僚二²

【 D 会 場 】

第1日 (5月28日)

座長 手嶋 紀雄

【依頼講演】 D1001* (10:00 ~ 10:20) Cost effective downscaling sample pretreatment and flow analysis (Chiang Mai Univ.) ○Kate Grudpan

【依頼講演】 D1002* (10:20 ~ 10:40) 現場分析を志向するFIAにおける前処理デバイスの最適化 (小川商会) ○樋口 慶郎

D1003* (10:40 ~ 10:55) コンピュータ制御溶液ハンドリング／モバイル化学分析：アンモニア測定の高高度化 (Brawijaya Uni. Dept.Chem.¹・高知大MGC JAPAN²・岡山大岡山大インキュベータ³・岡山大院自然⁴・山梨大生命環境⁵・山梨大院医工⁶) Hakim, Lukman¹・樋口 慶郎²・○本水 昌二³・金田 隆⁴・鈴木 保任⁵・川久保 進⁶

座長 竹内 政樹

D1004* (10:55 ~ 11:10) 小型蒸留器を用いた蒸留とフローインジェクション分析法による全シアンの迅速定量 (第2報) (共立理化学研¹・小川商会²・岡山大³) ○原 知里¹・上田 実¹・奥村 浩¹・岡内 完治¹・岡内 俊太郎¹・樋口 慶郎²・本水 昌二³

D1005* (11:10 ~ 11:25) 全窒素測定のための小型バッチ分解／FIA (愛知工大¹・三菱化学アナリテック²) ○作田 成久¹・藤井 亮甫¹・大野 慎介²・村上 博哉¹・手嶋 紀雄¹・酒井 忠雄¹

D1006* (11:25 ~ 11:40) アルデヒド類とアセトンのシーマ法によるオンライン誘導体化／HPLC (愛知工大¹・Khon Kaen Univ.²・東薬大³) ○一杉 理香¹・村上 博哉¹・Ketsarin Seebunrueng²・Supalax Srijaranai²・梅村 知也³・手嶋 紀雄¹・酒井 忠雄¹

座長 大平 慎一

D1007* (13:30 ~ 13:45) SIラボオンバルブ法による鉄の価数別分析 (愛知工大¹・琉球大²) ○足立 雅典¹・植田 梨紗子¹・加藤 祥悟¹・村上 博哉¹・手嶋 紀雄¹・酒井 忠雄¹・喜納 兼勇²

【依頼講演】 D1008* (13:45 ~ 14:05) HBr発生装置を用いたポストカラム誘導体化法による微量臭素酸イオンの定量 (中部大応生) ○井上 嘉則

【依頼講演】 D1009* (14:05 ~ 14:25) Sequential injection analysis as an efficient sample pretreatment system for voltammetric determination of some heavy metals (Chiang Mai Univ.) ○Jaron Jakmunee

座長 石松 亮一

D1010* (14:25 ~ 14:40) HPLCポストカラム法によるFe(III)キレート分析法の開発とその応用 (産総研計測標準¹・東大院農応生²) ○有賀 智子^{1,2}・井村 祐己²・鈴木 道生²・稲垣 和三¹・吉村 悦郎²

【依頼講演】 D1011* (14:40 ~ 15:00) イオンクロマトグラフーポストカラム濃縮法による微量陰イオンの高感度分析 (徳島大院医歯薬) ○竹内 政樹

【依頼講演】 D1012* (15:00 ~ 15:20) 高感度DNA付加体分析のための前処理手法の確立 (愛知工大) ○村上 博哉

D1013* (15:20 ~ 15:35) 電気透析法によるポストカラムーインライン濃縮 (熊本大院自然) ○大平 慎一・梅本 亜紗美・榎知 弥・桑原 良英・戸田 敬

[PC設定時間]

座長 樋口 慶郎

D1014* (15:45 ~ 16:00) 蛍光性カーボンナノドットの抗体への修飾とフロー免疫アッセイ法への応用 (九大院工) ○石松 亮一・中野 幸二・今任 稔彦

D1015* (16:00 ~ 16:15) コンパクトディスク型マイクロチップを用いる流れ分析法における電気化学発光検出法の基礎検討 (九大院工) 郭 帥・石松 亮一・中野 幸二・○今任 稔彦

D1016* (16:15 ~ 16:30) 相分離混相流における液液界面の創出と利用法について (同志社大院理工) 仲田 祐子・藤永 慧・○塚越 一彦

D1017* (16:30 ~ 16:45) 高速度鋼中タンゲステンのICP-AES定量のためのホウ酸塩融解による迅速試料調製法の検討 (東北大金研) ○中山 健一・我妻 和明

第2日 (5月29日)

座長 齋藤 伸吾

【依頼講演】 D2001* (9:00 ~ 9:20) アフィニティー精製と高温逆相LCを組み合わせた抗体医薬の血中薬物濃度分析法の開発 (静岡県大薬) ○轟木 堅一郎

【依頼講演】 D2002* (9:20 ~ 9:40) イオンモビリティー質量分析法を用いた気相イオン分離と分子構造解析への応用 (東工大地球生命研¹・理研²) ○本郷 やよい^{1,2}

D2003* (9:40 ~ 9:55) 超低温HPLCにおける試料-固定相間相互作用の制御 (名工大院工) ○本野 智大・北川 慎也・大谷 登

座長 北川 慎也

[依頼講演] D2004* (9:55~10:15) 細胞のキャピラリー電気泳動とDNAアプタマー選抜(埼玉大院理工)○齋藤 伸吾

D2005* (10:15~10:30) 表面気泡変調液体クロマトグラフィーによるアルキル結合型シリカを用いた逆相分離系における溶質保持に対する水/疎水界面およびアルキル結合層の寄与の評価(埼玉大院理工)○中村 圭介・齋藤 伸吾・洪川 雅美

D2006* (10:30~10:45) Ion partition/ion exclusion staking: A new chromatographic approach for enrichment of ions and purification of electrolytes (埼玉大院理工)○Akter, Fouzia・齋藤 伸吾・洪川 雅美

[PC設定時間]

座長 轟木 堅一郎

[依頼講演] D2007* (10:55~11:15) マイクロ流体LCカラムの開発とカラム内試料拡散の評価(京大院工)○内藤 豊裕・中村 誠・岩場 剛志・久保 拓也・大塚 浩二

D2008* (11:15~11:30) 含窒素化合物の保持に対するODSの修飾率および細孔径の影響(名工大院工)○大室 智史・石崎 理・安井 孝志・高田 主岳・湯地 昭夫

[依頼講演] D2009* (11:30~11:50) 非水系キャピラリー電気泳動法による非水溶性合成高分子分析法の開発(名工大院工)○北川 慎也・山村 知之・深井 菜緒・大谷 肇

座長 馬渡 和真

D2010 (13:30~13:45) 新しい人工生体膜チップを利用した生体反応の機能分析システムの開発(東大工応化¹・JST-さきがけ²)○渡邊 力也^{1,2}・野地 博行¹

D2011 (13:45~14:00) 新しい小型現場滴定装置の開発(山梨大工¹・山梨大医工²)○大森 太志¹・川久保 進²

D2012 (14:00~14:15) マイクロペーパー分析デバイス用小型化学発光検出器の開発(岡山大院自然)○金田 隆・Waleed Alahmad

座長 金田 隆

D2013 (14:15~14:30) 拡張ナノ流体デバイスを用いた単一・可算個分子ELISA法(東大院工¹・JST-CREST²)○太田 諒一^{1,2}・馬渡 和真^{1,2}・清水 久史^{1,2}・北森 武彦^{1,2}

D2014 (14:30~14:45) マイクロ流体デバイスを用いた薄層ELISA法の開発(東大院工¹・東大医附属病院²)○中尾 達郎¹・馬渡 和真¹・嘉副 裕²・北森 武彦¹

【 E 会 場 】

第1日(5月28日)

座長 永谷 広久

E1001 (9:00~9:15) レーザー誘起単一ピコリットル微粒子による微量物質抽出(北大院総化¹・北大院理²)野原 陸¹・三浦 篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

E1002 (9:15~9:30) 単一エアロゾル水滴界面における溶存分子の吸着のレーザー捕捉・顕微分光(北大院総化¹・北大院理²)○堀 皓詞¹・三浦 篤志^{1,2}・喜多村 昇^{1,2}

E1003 (9:30~9:45) Direct observation of the deliquescence and efflorescence processes of single aerosol particles by using a laser trapping technique(広島大院理)○Fangqin Guo・Shoji Ishizaka

E1004 (9:45~10:00) 原子間力顕微鏡による微小液滴の付着性の評価(広島大院理)○新田 真司・石坂 昌司

座長 石坂 昌司

E1005 (10:00~10:15) 水中マイクロチャンネルを用いた水のゼータ電位の測定(東工大院理工¹・京工繊大戦略推進機構²)○稲川 有徳¹・福山 真央²・火原 彰秀¹・岡田 哲男¹

E1006 (10:15~10:30) 誘導ラマン散乱光干渉計による埋もれたサブミクロン厚多層薄膜の化学種識別計測(東理大理)○伴野 元洋・大森 絵梨・由井 宏治

E1007 (10:30~10:45) レーザー誘起表面変位顕微鏡を用いたヒト表皮細胞の分化と粘弾性との相関の解明(東理大理)○森作 俊紀・大貫 仁碧・小山 恵莉加・由井 宏治

[PC設定時間]

座長 火原 彰秀

E1008 (10:55~11:10) 液液界面におけるポリL-リシンデンドリグラフトによるアニオン性色素の包接挙動(金沢大院自然)○藤沢 政孝・坂江 広基・永谷 広久・井村 久則

E1009 (11:10~11:25) 磁場により誘起される磁性ナノ粒子分散液のサンヤック効果と線二色性(阪大INSD¹・阪大IC²)○渡會 仁¹・Chen, Ziyu²

E1010 (11:25~11:40) β -シクロデキストリン/酸化タンゲステン複合系のフォトクロミック特性を利用したアミノ酸光学異性体検出(山口大院創成科学)○阿座上 拓・安達 健太・山崎 鈴子

座長 肥後 盛秀

[依頼講演] E1011* (13:30~13:50) Printed Paper-Based Analytical Devices (Keio Univ. Applied Chemistry)○Citterio, Daniel・Henares, Terence・Takaki, Shunsuke・Shibata, Hiroyuki・Komuro, Nobutoshi・Yamada, Kentaro・Suzuki, Koji
E1012* (13:50~14:05) ギャップモードを利用した高感度ラマンセンシング(埼玉大院理工)○二又 政之・飯田 千晶・赤井 啓太郎・石倉 真保

E1013* (14:05~14:20) 電気化学発光を用いた抗酸化力測定(岡山理大工¹・阪大院工²・デザイナーフーズ³・バイオデバイステクノロジー⁴)○永谷 尚紀¹・井上 裕毅²・荒木 晃子²・斎藤 真人²・服部 玄³・櫻井 康博³・荻堂 裕³・牛島 ひろみ⁴・民谷 栄一²

座長 山口 央

[依頼講演] E1014* (14:20~14:40) 金属蒸着ガラス棒SPRセンサーの高性能化と選択性の付与(鹿児島大院理工)○肥後 盛秀・満塩 勝

E1015* (14:40~14:55) 金属蒸着ガラス棒センサーの応答機構に関する研究(22);テフロンAF被覆膜の選択性の検討(鹿児島大院理工)○満塩 勝・肥後 盛秀

E1016* (14:55~15:10) 金ナノ粒子に由来する局在表面プラズモン共鳴を利用した電気化学-光ファイバーセンサーの開発(富山大院理工(理)¹・富山大水素研²・前橋工科大³)○織井 達也¹・岡崎 琢也¹・波多 宣子¹・田口 茂¹・田口 明²・菅原 一晴³・倉光 英樹¹

E1017* (15:10~15:25) 電位走査型LSPRセンサーの開発(東大生研)○立間 徹・西 弘泰・廣谷 沙耶香

[PC設定時間]

座長 久本 秀明

[依頼講演] E1018* (15:35~15:55) ベンゾボロキソール型レセプターに基づくオプティカル糖センシングフィルムの開発(富山大院理工)○遠田 浩司

E1019* (15:55～16:10) チューブ状メソポーラスシリカを利用した酵素センサーの開発 (茨城大理¹・産総研化学プロセス²)
○山口 央¹・上野 涼太郎¹・洪屋 祐太¹・伊藤 徹二²

座長 遠田 浩司

【依頼講演】 E1020* (16:10～16:30) 酸化グラフェンによる蛍光消光を活用したキャピラリー型1ステップイムノアッセイ (阪府大院工) ○久本 秀明

【依頼講演】 E1021* (16:30～16:50) 金ナノロッド近傍の多孔性シリカ層への色素の固定化による近赤外蛍光センサー材料の開発 (和歌山大システム工¹・阪市工研²) ○中原 佳夫¹・武田 涼子¹・津多 貴也¹・玉井 聡行²・矢嶋 摂子¹・木村 恵一¹

E1022* (16:50～17:05) 有機ELと有機フォトダイオードを用いる蛍光検出システムの開発 (首都大院都市環境¹・メビウスAT²) ○森岡 和夫¹・中嶋 秀¹・辺見 彰秀²・曾 湖烈¹・加藤 俊吾¹・内山 一美¹

第2日 (5月29日)

座長 白井 理

E2001 (9:00～9:15) キノンに対するアミノエタンチオール修飾電極の電気化学的特性評価 (名工大院工¹・名工大工²) ○内藤 久実¹・市川 功二²・前田 友梨¹・安井 孝志¹・高田 主岳¹・湯地 昭夫¹

E2002 (9:15～9:30) PEDOTの酸化還元を利用した微粒子のカチオン吸脱着制御 (名工大院工) ○谷口 裕香・前田 友梨・安井 孝志・高田 主岳・湯地 昭夫

E2003 (9:30～9:45) 金電極を用いるCu²⁺のストリッピングボルタンメトリー：超音波照射の影響 (信州大院総合工) ○Sri, Mulyati・金 継業

E2004 (9:45～10:00) グラフェン-金ナノコンポジット修飾グラッシーカーボン電極によるクロム(VI)の電気化学測定法の開発 (信州大院総合工¹・信州大院理工²) ○Trisna Kumala Sari¹・中村 聡志²・金 継業¹

座長 金 継業

E2005 (10:00～10:15) テトラゾリウム塩を用いた細菌の電気化学的定量法の開発 (阪府大院工) 森下 綾・椎木 弘・○長岡 勉

E2006 (10:15～10:30) 生物濃縮を模倣した放射性セシウム回収材の開発 (京大院農) 本池 雅貴・○白井 理・北隅 優希・加納 健司

E2007 (10:30～10:45) 臨床糖マーカー検出を目的としたナノ金属材料ハイブリッドカーボン薄膜電極の開発 (筑波大院¹・産総研²・千葉工大³・埼玉工大⁴) ○芝 駿介^{1,2,4}・加藤 大²・鎌田 智之^{2,3}・丹羽 修^{2,4}

【PC設定時間】

座長 北隅 優希

E2008 (10:55～11:10) 水とトルエン界面でのイオン移動ボルタンメトリー (龍谷大理工) ○松山 裕樹・飯島 光沙紀・糟野 潤

E2009 (11:10～11:25) イオン液体塩橋を用いた海水の精密pH測定法の研究 (甲南大理工) 橋本 凌・中村 稜雅・山本 雅博・○垣内 隆・村上 良

E2010 (11:25～11:40) テトラフェニルポルフィリンによるプロトンの液液界面促進移動に対する1,2-ジクロロエタンの光分解の影響 (信州大理) ○久保 智也・樋上 照男

E2011 (11:40～11:55) 導電体分離油水系におけるニトロベンゼン中のフラーレンの陰イオンラジカルと水中の水素イオンの電子移動反応に関する研究 (信州大理) ○山本 紗綾香・藤森 雅昭・樋上 照男

座長 福山 真央

【依頼講演】 E2012* (13:30～13:50) ジャイアントベシクルのダイナミクスとその応用 (東大院総合文化) ○豊田 太郎

【依頼講演】 E2013* (13:50～14:10) ミセル内に取り込まれた小分子に対するミセル界面揺らぎの影響 (京工織大¹・阪大院基礎工²) ○水口 朋子¹・石塚 良介²・松林 伸幸²

【依頼講演】 E2014* (14:10～14:30) 固液界面で界面活性剤集合体が媒介する難分解物質の捕集と分解 (名大未来研) ○松宮 弘明

座長 高田 主岳

【依頼講演】 E2015* (14:30～14:50) ナノ水滴生成を利用したマイクロ水滴内包物の分析前処理操作 (京工織大戦略推進機構系¹・京工織大院工芸科学²・東工大院理工³) ○福山 真央¹・吉田 裕美²・前田 耕治²・火原 彰秀³

E2016* (14:50～15:05) 電気毛管方程式から見たイオン移動反応と酸化還元反応の違い (京大院農¹・甲南大理工²・JST-CREST³) ○北隅 優希^{1,3}・白井 理¹・山本 雅博^{2,3}・加納 健司^{1,3}

【PC設定時間】

座長 大塚 利行

【依頼講演】 E2017* (15:15～15:35) 柔らかく動かす-高分子ゲルアクチュエータ・微小ポンプ-(名工大院工) ○高田 主岳

【依頼講演】 E2018* (15:35～15:55) 液状炭素滴電極を用いるポーラログラフィー (信州大理) ○巽 広輔・久保 景

E2019* (15:55～16:10) イオン液体と水とのあいだのソフト界面における樹枝状金ナノファイバー合成：粘度および界面張力による生成機構の考察 (京大院工) ○西 直哉・柿並 達也・矢島 郁実・天野 健一・作花 哲夫

座長 巽 広輔

【依頼講演】 E2020* (16:10～16:30) 電極表面への分子認識ソフト界面の構築—非特異吸着の抑制と高感度認識 (産総研) ○佐藤 縁

E2021* (16:30～16:45) 薬剤の人工膜透過のデジタルシミュレーション—イオン移動ボルタンメトリーからのアプローチ (神戸大院理) ○大塚 利行・中村 まゆみ

E2022* (16:45～17:00) NMRによるシリカナノ粒子/非水電解質溶液系の固液界面における液相物性分析 (神戸大工¹・神戸大環境保全推進セ²・神戸大院工³) ○竹元 毬恵¹・牧 秀志^{2,3}・水畑 穰³

【 F 会 場 】

第1日 (5月28日)

座長 西本 右子

F1001 (9:00～9:15) ラマン分光法を用いたアミロイド線維形成過程におけるインスリンの構造解析 (関学大院理工¹・神戸大院理²・神戸大院農³) ○森本 佳奈¹・石垣 美歌¹・茶谷 絵理²・Roumiana Tsenkova³・尾崎 幸洋¹

F1002 (9:15～9:30) 遠紫外分光法によるプロトンに水和した水分子の第一電子遷移の研究 (関学大理工) ○後藤 剛喜・尾崎 幸洋

F1003 (9:30～9:45) 減衰全反射遠紫外分光法を用いたイオン液体への溶解による電子状態変化の分析(近畿大理工¹・関学大理工²) ○森澤 勇介¹・田邊 一郎²・尾崎 幸洋²

F1004 (9:45～10:00) レーザー誘起プラズマ発光分光分析法によるFe-X2元素標準試料から得られる検量線の検討(東北大金研) ○柏倉 俊介・我妻 和明

F1005 (10:00～10:15) 光捕捉した立体規則性ポリ(N-イソプロピルアクリルアミド)の顕微ラマン分光法による評価(阪市大院理) ○東海林 竜也・後 健太・松本 充央・麻生 隆彬・坪井 泰之

[PC設定時間]

座長 河合 潤

F1006 (10:25～10:40) 塩水に浸漬した鋼板試料の腐食挙動のその場蛍光X線イメージングおよび主成分分析の適用(阪市大院工¹・新日鐵住金技術開発本部²・京大化研³) ○松野 剛士¹・秋岡 幸司²・土井 教史²・長谷川 健³・辻 幸一¹

F1007 (10:40～10:55) 全視野型蛍光X線イメージングによる大面積試料に対する元素分布情報の取得(阪市大院工) ○瀧本 雄毅・山梨 眞生・辻 幸一

F1008 (10:55～11:10) 尾張藩上屋敷跡遺跡出土試料及び尾張七宝の研磨砥石の成分分析(神奈川大理) ○櫻井 正美・青柳 佑希・高岡 真美・西本 右子

座長 辻 幸一

F1009 (11:10～11:25) 酸分解-粉末X線回折法による鑄鉄中のグラファイトの定量(明治大理工¹・リガク²) ○中村 利廣¹・大鳥 光佑¹・萩原 健太¹・大淵 敦司²・小池 裕也¹

F1010 (11:25～11:40) 導電性基板を用いた簡便な絶縁性薄膜の全電子取量軟X線吸収測定法(兵庫県大院工) ○村松 康司・大内 貴仁

F1011 (11:40～11:55) ハンドヘルド蛍光X線分析装置の環境水分析への適用(明大理工) ○萩原 健太・甲斐 祥太郎・小池 裕也・相澤 守・中村 利廣

座長 朱 彦北

F1012 (13:45～14:00) 極微量Ti分析におけるICP-MS/MS法の優位性と機構の考察(アジレント¹・アジレントインターナショナル²) ○溝渕 勝男¹・山田 憲幸²・山中 理子²・行成 雅一¹・桑原 健雄²

F1013 (14:00～14:15) 高純度銅中の不純物分析におけるICP-MSとGD-MSのイオン化機構の比較と相対感度係数に関する考察(三菱マテリアル中研) ○Mohammad B., Shabani・林部 豊・梯 伸一郎

F1014 (14:15～14:30) グロー放電発光分光分析法における印加電圧波形の測定感度/精度に及ぼす影響(東北大金研) ○三浦 修・我妻 和明

座長 野々瀬 菜穂子

F1015 (14:30～14:45) 水素燃料中不純物の高感度直接分析に向けた大気圧マイクロプラズマ検出器の開発(関学大理工¹・ヤナコ計測²・東工大総理工³) ○岩井 貴弘¹・松田 敬子²・宮原 秀一³・沖野 晃俊³・千葉 光一¹

F1016 (14:45～15:00) レーザー誘起プラズマ発光分析における鉄系二元合金からの試料導入効率に及ぼす表面変質層の影響(東北大学金研) ○張 心月・我妻 和明

F1017 (15:00～15:15) 和歌山カレーヒ素事件におけるHG-AAS分析とICP-AES分析の問題点(京大工) ○河合 潤

[PC設定時間]

座長 我妻 和明

F1018 (15:25～15:40) フレーム原子吸光分析のためのドデシル硫酸ナトリウム/活性炭による微量Cdの前濃縮法の開発(三重大院工¹・三重大国際環境教育研セ²) ○古川 真衣¹・勝又 英之¹・鈴木 透²・金子 聡¹

F1019 (15:40～15:55) 波長連続光源分子吸収-同位体希釈法によるプラスチック材料中ハロゲンの定量法の評価(産総研NMIJ) ○野々瀬 菜穂子・石澤 ゆかり・大畑 昌輝・三浦 勉

F1020 (15:55～16:10) 固相抽出分離/同位体希釈-三重収束型MC-ICP-MSによる高濃度NaCl溶液中のPbの高精度定量(産総研NMIJ¹・地球研²) ○野々瀬 菜穂子¹・石澤 ゆかり¹・鈴木 俊宏¹・申 ギチヨル²・三浦 勉¹

F1021 (16:10～16:25) ID-ICP-QMS/QMSによる水道水中Rbの定量分析:高濃度Srのスペクトル干渉除去(産総研計量標準) ○朱 彦北

座長 金子 聡

F1022 講演中止

F1023T (16:40～17:10) Advanced Trace Detectability in Metallic Matrices by High Resolution ICP-OES (Analytik Jena AG) ○Jan SCHOLZ・Rieko KATO・Heike GLEISNER・Alf LIEBMANN

第2日(5月29日)

座長 福嶋 正巳

F2001 (9:20～9:35) 溶存化学種のプロファイルからみた金沢市近郊を流れる4河川の水質特性(金沢工大バイオ化) ○藤永 薫・橋本 佑太・大嶋 俊一・渡辺 雄二郎・小松 優

F2002 (9:35～9:50) 温度変化に伴うケイ酸化学種の反応性(東京海洋大院¹・理研²) ○田中 美穂¹・岡部 駿也¹・高梨 翠¹・高橋 和也²

F2003 (9:50～10:05) 極限環境試料中の生物活動評価のためのアミノ酸分析法の検討(横国大院理工工¹・福岡工大²・安田女大³・UNAM⁴) ○小林 憲正¹・石川 優人¹・松野 省吾¹・宮本 妃菜¹・三田 肇²・小川 麻里³・Rafael Navarro-Gonzalez⁴

F2004 (10:05～10:20) 隕石母天体の変成模擬実験により生成した複雑有機物の軟X線吸収分光及びエレクトロスプレーイオン化質量分析(横国大¹・福岡工大²・兵庫県大³・北大⁴) ○癸生川 陽子¹・三田 肇²・南部 啓太³・大内 貴仁³・村松 康司³・橘 省吾⁴・小林 憲正¹

[PC設定時間]

座長 小林 憲正

F2005 (10:30～10:45) ESI-MSを用いたFe(II)とFe(III)の同時定量法の開発(東京海洋大院海洋科学) ○岡部 駿也・田中美穂

F2006 (10:45～11:00) CE-ESI-MSによるAl多量体の分析方法の開発(東京海洋大院) ○星野 陽子・中本 大輔・田中美穂

F2007 (11:00～11:15) マンガン酸化物を被覆した製鋼スラグに対する金属元素の吸着特性の検討(東京海洋大学院¹・新日鐵先端研²) ○高梨 翠¹・相本 道宏²・平田 純一¹・田中美穂¹

F2008 (11:15～11:30) 藻類の分子認識モニタリング法を用いる琵琶湖水中溶存有機物質に及ぼす藻類由来有機物の影響解析(京工織大院工芸科学¹・京工織大環境科学セ²・滋賀県琵琶湖環境研³) ○水口 裕尊¹・藤井 颯¹・笹井 啓佑¹・布施 泰朗²・石川 可奈子³・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}

座長 山田 悦

F2009 (13:30 ~ 13:45) 熱分解GC/MSによる堆肥由来腐植成分のキャラクタリゼーション (北大院工) ○福嶋 正巳・Xuefei Tu・Apichaya Aneksampant・田中 淳

F2010 (13:45 ~ 14:00) 福島県の都市ごみ焼却飛灰の組成分析と放射性セシウムの分析 (リガク¹・明大理工²・東理大³) ○大淵 敦司¹・越智 康太郎²・小池 裕也²・野村 貴美^{2,3}・山田 康治郎¹・藤縄 剛¹・中村 利廣²

F2011 (14:00 ~ 14:15) 福島第一原発事故で首都圏はどのくらいの放射能汚染を受けたのか? =土壌への沈着量から考える = (近畿大理工) ○山崎 秀夫・澤田 夏実・平日 綾香・坂井 優歩

F2012 (14:15 ~ 14:30) 福島県秋元湖、沼沢湖の放射能汚染と底質への放射性セシウムの移行過程の推定 (近畿大理工¹・龍谷大理工²) ○山崎 秀夫¹・本田 健太郎¹・岩佐 美悠子¹・平日 綾香¹・桧尾 亮一²

【 P 会 場 】

第1日 (5月28日)

午前の部

Y1001 (9:30 ~ 11:00) 猪名川流域における河川水及び植物試料のICP分析法を用いた多元素定量分析とその元素挙動評価 (関学大理工) Mrabawani Nanda・岡本 淳・陳 飛・○岩井 貴弘・千葉 光一

Y1002 (9:30 ~ 11:00) 外気混入の低減を目的とした流量バランスICPトーチの開発及び性能評価 (東工大院総理工) ○鎗柄 直人・掛川 賢・宮原 秀一・沖野 晃俊

Y1003 (9:30 ~ 11:00) 超微量試料分析を目的としたICP-AES/MS用エレクトロスプレー試料導入法の開発 (東工大院総理工) ○掛川 賢・相田 真里・鎗柄 直人・細田 駿介・宮原 秀一・沖野 晃俊

Y1004 (9:30 ~ 11:00) ドロプレット用脱溶媒装置の加熱温度が単一細胞分析に与える影響の調査 (東工大総理工¹・関学大²・電機大³) ○細田 駿介¹・相田 真里¹・掛川 賢¹・岩井 貴弘²・宮原 秀一¹・千葉 光一²・保倉 明子³・沖野 晃俊¹

Y1005 (9:30 ~ 11:00) 遠紫外分光法によるアルミナ表面上の界面水分子の電子遷移と水素結合に関する研究 (関学大院理工) ○岸部 航大・後藤 剛喜・尾崎 幸洋

Y1006 (9:30 ~ 11:00) 近赤外分光法、イメージングを用いたメダカ受精卵の正常卵と異常卵の判別 (関学大理工) ○安井 唯・石垣 美歌・尾崎 幸洋

Y1007 (9:30 ~ 11:00) ラマン分光法によるスイカに含まれるシトルリンの定量分析 (日大工) ○月岡 聖也・沼田 靖・田中 裕之

Y1008 (9:30 ~ 11:00) ラマン分光定量分析に用いる新しいデュアルセルの作製 (日大工) ○佐々木 健太・星 健大・沼田 靖・田中 裕之

Y1009 (9:30 ~ 11:00) ラマン分光法を用いた新たなリン酸イオン定量法の開発 (日大工) ○小林 隼人・谷地田 星・沼田 靖・田中 裕之

Y1010 (9:30 ~ 11:00) 超音波反応場におけるスーパーオキシドラジカルアニオンの生成と検出 (信州大院理工¹・信州大院総合工²) ○春山 直紀¹・松岡 聖典²・金 継業²

Y1011 (9:30 ~ 11:00) 分子内光誘起電子移動における電子供与体と受容体間の相互作用に対する架橋構造の影響に関する研究 (岐阜薬大¹・岐阜大院創薬医療情報²) ○戸倉 茉論美¹・山本 拓平¹・中山 辰史¹・江坂 幸宏^{1,2}・宇野 文二^{1,2}

Y1012 (9:30 ~ 11:00) NaClドープ水中における亜鉛イオンの特異的濃縮 (東工大院理工) ○徳増 宏基・原田 誠・岡田 哲男

Y1013 (9:30 ~ 11:00) 酒石酸およびそのアルカリ金属塩の電子状態 (4) (龍谷大理工¹・富山大院理工学教育²) ○中村 亮太¹・藤原 学¹・原田 忠夫¹・大澤 力²

Y1014 (9:30 ~ 11:00) モリブデンブルー法に用いられるモリブデンおよびヘテロ原子の電子状態の解明 (龍谷大理工) ○福井 喬太・藤原 学

Y1015 (9:30 ~ 11:00) 担持ニッケル触媒調製における乾燥過程のXAFS法を用いた化学状態解析 (立命館大) ○稲田 成哉・山本 悠策・山下 翔平・片山 真祥・稲田 康宏

Y1016 (9:30 ~ 11:00) XAFSによるゼオライト担持Ni(II)化学種の状態解析 (立命館大) ○橋本 大介・山本 悠策・丸山 かれん・片山 真祥・稲田 康宏

Y1017 (9:30 ~ 11:00) ディスク固相抽出/ハンドヘルド蛍光X線分析法による水中微量重金属の現場定量 (明大理工) ○萩原 健太・甲斐 祥太郎・小池 裕也・相澤 守・中村 利廣

Y1018 (9:30 ~ 11:00) 酸化黒鉛系炭素のCK端XANESに及ぼす酸素官能基の影響 (兵庫県大工) ○太田 雄規・岡田 融・村松 康司

Y1019 (9:30 ~ 11:00) 市販試薬線源による水試料の濃縮定量法 (明大院理工¹・明大理工²・明大研究知財戦略機構³) ○奥村 真吾¹・庄司 美奈²・鈴木 亮一郎¹・福田 大輔¹・鈴木 茂世¹・萩原 健太¹・栗原 雄一³・中村 利廣²・小池 裕也²

Y1020 (9:30 ~ 11:00) NMRスペクトルの多変量解析によるポリマー劣化品解析 (TRC) ○小西 結貴・日下田 成

Y1021 (9:30 ~ 11:00) 二段の回転電場を用いた新しい原理による質量分析器の開発及びその評価 (東理大院理工¹・東理大総研²・オフィスタンデム³・日大理工⁴・アンペール⁵・兵庫県大院工⁶) ○立花 嶺¹・野島 雅^{1,2}・堀田 昌直³・胡桃 聡⁴・足立 達哉⁵・草柳 高志⁵・鈴木 薫⁴・盛谷 浩右⁶

Y1022 (9:30 ~ 11:00) LC-ESI-MSによるDNA付加体分析のためのイオン化効率改善に関する研究 (愛知工大¹・岐阜薬大²・京大院薬³) ○荒木 逸杜¹・村上 博哉¹・堀場 瑠璃²・宇野 文二²・石濱 泰³・江坂 幸宏²・手嶋 紀雄¹

Y1023 (9:30 ~ 11:00) ノンターゲットメタボロミクスにおける高精度分析法の開発 (静岡県大薬¹・福島県医大²) ○上田 一樹¹・小林 勇太¹・水野 初¹・轟木 堅一郎¹・関 俊哲¹・津山 尚宏²・豊岡 利正¹

Y1024 (9:30 ~ 11:00) 酵素反応前処理を用いたDNA損傷体の選択的定量法の開発 (岐阜薬大¹・愛知工大²・岐阜大院連合創薬³) ○新宅 圭太朗¹・堀場 瑠璃¹・国嶋 咲希¹・村上 博哉²・江坂 幸宏^{1,3}・宇野 文二^{1,3}

Y1025 (9:30 ~ 11:00) 損傷ヌクレオチド高感度検出のためのCE濃縮-錯体化-シーレスESI-MS法の開発 (岐阜薬大¹・愛知工大²・岐阜大院連合創薬³) ○漆原 三佳¹・岡本 哲郎¹・久戸 賢治¹・村上 博哉²・江坂 幸宏^{1,3}・宇野 文二^{1,3}

Y1026 (9:30 ~ 11:00) ハイブリッド-ナノ微粒子支援型質量分析法による低~高分子の一斉検出 (福井県大) ○小森 花香・片野 肇・日比 隆雄・平 修

- Y1027 (9:30～11:00) 物質変換によるキャリブレーションフリーな高速液体クロマトグラフィーの検出法 (熊本大院自然) ○金田 恭介・松崎 徹・森 秀太・大平 慎一・戸田 敬
- Y1028 (9:30～11:00) 電気透析型イオン抽出デバイスを用いた弱酸の分離 (群馬大院理工¹・熊本大院自然²・原子力機構³) ○佐柄 克哉¹・森 勝伸¹・大平 慎一²・板橋 英之¹・須郷 由美³・渡辺 茂樹³・石岡 典子³
- Y1029 (9:30～11:00) Polymer Inclusion Membrane コーティングカラムを導入したフローインジェクション分析：亜鉛(II)の分離定量 (富山大院理工¹・The University of Melbourne²) 加賀谷 重浩¹・○松田 築¹・南 千香子¹・大嶋 卓巳¹・源明 誠¹・Robert W. Cattrall²・Spas D. Kolev²
- Y1030 (9:30～11:00) 温度応答性固相抽出カラムによる温和な条件化における抗体精製法の検討 (慶大薬) ○大阿久 絢加・大久保 廣平・秋丸 倫子・蛭田 勇樹・金澤 秀子
- Y1031 (9:30～11:00) Tb担持親水性相互作用樹脂によるカビ毒DON,NIVの選択的捕捉とその食品分析への応用 (中部大応生) ○古川 沙織・日置 清香・井上 嘉則・山本 良平・山本 敦
- Y1032 (9:30～11:00) ODSを用いた固相抽出法における残存シラノール基への含酸素化合物の吸着～酸素原子の数及び塩基性度の影響～ (名工大院工) ○那須 静香・大室 智史・安井 孝志・高田 主岳・湯地 昭夫
- Y1033 (9:30～11:00) カルボキシメチル化ポリエチレンイミン型樹脂へのタンパク質吸着挙動 (富山大院理工¹・中部大応生²) ○齋藤 雅也¹・源明 誠¹・井上 嘉則²・加賀谷 重浩¹
- Y1034 (9:30～11:00) ナノファイバーフィルターを用いる微量ヒ素(III)の目視分析 (山形大院理工¹・安積濾紙²・福井大院工³・徳島大院ソシオテクノ⁴) ○石田 亮太¹・河野 泰志²・橘忠彦²・本田 知己³・木島 龍朗¹・水口 仁志^{1,4}
- Y1035 (9:30～11:00) オキソ酸イオンの固相抽出分離のためのPolymer Inclusion Membraneにおける高分子基材の影響 (富山大院理工¹・The University of Melbourne²) ○伊藤 一馬¹・前野 智紀¹・源明 誠¹・加賀谷 重浩¹・Robert W. Cattrall²・Spas D. Kolev²
- Y1036 (9:30～11:00) 含水陰イオン交換樹脂による有機溶液中からのパラジウム回収：保持水の役割 (富山大院理工¹・中部大応生²) 加賀谷 重浩¹・○小幡 一誠¹・宇田 貴尋¹・源明 誠¹・井上 嘉則²
- Y1037 (9:30～11:00) 8-キノリノールを用いるAl(III), Ga(III)およびIn(III)のイオン液体キレート抽出 (東邦大理¹・東邦大複合物性研セ²) ○江口 綾乃¹・森田 耕太郎¹・平山 直紀^{1,2}
- Y1038 (9:30～11:00) マイクロ流路中での高密度金属ナノ粒子集合体のレーザー誘起集合化と分析応用 (阪府大院理¹・グリーンケム²・阪府大院工³) ○植田 真由¹・西村 勇姿¹・山本陽二郎²・床波 志保³・飯田 琢也¹
- Y1039 (9:30～11:00) 膜電位感受性色素存在下でのO/Wエマルションの電位依存蛍光スペクトル (神戸大院理¹・金沢大院自然²) ○岩田 知也¹・永谷 広久²・大塚 利行¹
- Y1040 (9:30～11:00) ナノサイズ磁性粉へのPb, Cd, Asの吸着挙動 (群馬大院理工) ○莫 エイコウ・森 勝伸・板橋 英之
- Y1041 (9:30～11:00) 固液界面における水和構造の分析：原子間力顕微鏡と液体統計力学の連携 (京大院¹・金沢大院²・ACT-C³) ○天野 健一¹・西 直哉¹・作花 哲夫¹・福岡 剛士^{2,3}
- Y1042 (9:30～11:00) グラフェン懸濁液のミセル動電クロマトグラフィーにおけるポリエチレングリコールの添加効果 (徳島大院先端技術¹・徳島大院ソシオテクノ²) ○別役 優太¹・倉科 昌²・高柳 俊夫²
- Y1043 (9:30～11:00) トラックエッチドメンブレンフィルター孔内で成長したリゾチーム結晶の単結晶X線構造解析 (阿南高専¹・徳島大院先端技科²・徳島大院ソシオテクノ³・愛媛大社会連携⁴) ○山田 洋平¹・岡田 英理子²・鈴木 良尚³・藪谷 智規⁴
- Y1044 (9:30～11:00) 可視光応答性シリカナノ粒子の経皮吸収性の評価 (東大院薬) ○天本 宇紀・三田 智文・船津 高志・加藤 大
- Y1045 (9:30～11:00) 雲母鉱物に対する連続分画抽出法における低分子有機酸の適用 (北大院環境科学¹・北教大札幌²) ○明本 靖広¹・菅 正彦²・田中 俊逸¹
- Y1046 (9:30～11:00) ゲル電気泳動法によるフミン酸/フミン酸結合型銅イオンのスペシエーション (埼玉大院理工¹・東大院工²) ○松本 篤正¹・齋藤 伸吾¹・斉藤 拓巳²・渋谷 雅美¹
- Y1047 (9:30～11:00) 赤城大沼の底質及び水棲生物に含まれる放射性セシウムの化学形態別分析 (群馬大院理工¹・群馬県水試²・国立環境研³) ○権田 貴裕¹・森 勝伸¹・角田 欣一¹・鈴木 究真²・湯浅 由美²・久下 敏宏²・野原 精一³・板橋 英之¹
- Y1048 (9:30～11:00) 土壤中ヒ素のキレート抽出と後処理法の検討 (金沢大院自然¹・金沢大理工²・西松建設技研³) ○地井 直行¹・澤井 光¹・橋本 有未²・牧 輝弥²・石渡 寛之³・長谷川 浩²
- Y1049 (9:30～11:00) 福島県の都市ごみ焼却飛灰中放射性セシウムの化学形態別定量 (明大院理工¹・リガク²・明大理工³・東理大⁴) ○藤井 健悟¹・大淵 敦司²・久米 冬馬³・塩原 良建¹・越智 康太郎¹・萩原 健太¹・野村 貴美^{3,4}・中村 利廣³・小池 裕也³
- Y1050 (9:30～11:00) 福島県の都市ごみ焼却飛灰を原料として作製した固化体の線源利用 (明大院理工¹・リガク²・明大理工³・東理大⁴) ○福田 大輔¹・大淵 敦司²・久米 冬馬³・塩原 良建¹・越智 康太郎¹・萩原 健太¹・野村 貴美^{3,4}・中村 利廣³・小池 裕也³
- Y1051 (9:30～11:00) OH形強塩基性陰イオン交換樹脂へのケイ酸の吸着挙動に対する塩化物イオンおよび硫酸イオンの影響 (九大院理¹・栗田工業²) ○秋永 真利那¹・中馬 高明²・岡上 吉広¹・横山 拓史¹
- Y1052 (9:30～11:00) ヘマタイト共存下における腐植物質前駆体の縮重合反応に伴う鉄の溶出挙動 (北大院工) ○田中 淳・Apichaya Aneksampant・小玉 立・福嶋 正巳
- Y1053 (9:30～11:00) 三環系芳香環スタッキングを有する白金系錯体の性質と抗がん活性 (金沢大院医薬保¹・新学術創成研²) ○北村 優奈¹・竹森 麻美¹・松岡 由貴¹・黄檗 達人¹・小川 数馬²・小谷 明¹
- Y1054 (9:30～11:00) がん細胞標的を目指した機能性ポリマーによる蛍光プローブの検討 (慶大薬) ○吉岡 仁美・山田 有紗・蛭田 勇樹・西村 友宏・金澤 秀子
- Y1055 (9:30～11:00) 光発熱集合法を用いた細菌数の迅速定量分析 (阪府大院理¹・阪府大院工²) ○山本 靖之^{1,2}・清水 恵美²・西村 勇姿¹・床波 志保²・飯田 琢也¹

- Y1056 (9:30～11:00) 超高速リアルタイムPCRシステムを用いた高速肉種判別技術(産総研健康工学)○古谷 俊介・萩原 義久・永井 秀典
- Y1057 (9:30～11:00) 次世代シーケンサーを利用するVEGF-A様核酸アプタマー群の獲得と構造解析(東大院総文広域生命¹・日産化学工業²)○和山 文哉¹・木村 恵子¹・古性 均²・吉本 敬太郎¹
- Y1058 (9:30～11:00) 導電性高分子を用いた細胞検出のためのセンサ基盤開発(阪府大院工¹・阪府大院理²・N2RC³)○川口 諒太郎¹・沼田 紘志¹・田村 守¹・中瀬 生彦³・飯田 琢也²・床波 志保¹
- Y1059 (9:30～11:00) 薄膜干渉基板を用いた腫瘍マーカータンパク質のラマン分光分析(関学大理工¹・東京工科大応用生物²)○安田 充¹・秋元 卓央²・尾崎 幸洋¹
- Y1060 (9:30～11:00) アマランスおよびテトラフェニルボレートを用いるアミノグリコシド系抗生物質の比色分析(福井県大生物資源)○黒田 康裕・平 修・丸山 千登勢・濱野 吉十・片野 肇
- Y1061 (9:30～11:00) 粗精製サボニンおよび大豆からのソヤサボニンBbの単離精製(福井県大生物資源)○野場 翔太・平修・高橋 正和・片野 肇
- Y1062 (9:30～11:00) グルコースオキシダーゼを用いたε-ポリリジンの比色分析(福井県大生物資源)○上野 隆晃・牛丸 和乗・丸山 千登勢・濱野 吉十・片野 肇・植松 宏平
- Y1063 (9:30～11:00) 外場を利用した生細菌の高密度固定(阪府大院工¹・阪府大院理²・千歳科大³)○栗田 慎也¹・西村 勇姿²・山本 靖之¹・飯田 琢也²・Olaf Karthaus³・床波 志保¹
- 午後の部**
- Y1064 (14:00～15:30) 単一チャンネル電流の解析に基づくグラミシジンAチャンネルのイオン透過選択性の評価(京大院農)○山口 拓也・白井 理・北隅 優希・加納 健司
- Y1065 (14:00～15:30) オルトカルボランの特異的二電子還元挙動の解析と機能性分子構築への展開(岐阜薬大薬¹・岐阜大院創薬医療情報²)○高野 迪花¹・山本 拓平¹・中山 辰史¹・江坂 幸宏¹²・宇野 文二¹²
- Y1066 (14:00～15:30) インバースオパール構造炭素を用いた新規な炭素電極の作製(徳島大院先端技術科学¹・徳島大院シオテクノ²・The University of Auckland³・愛媛大社会連携⁴)○小林 拓真¹・高柳 俊夫²・Geoffery Waterhouse³・藪谷 智規⁴
- Y1067 (14:00～15:30) イオン液体|金電極界面における電位変化に伴う構造緩和の電気化学表面プラズモン共鳴法による解析:Li塩添加の影響(京大工)○新井 建・西 直哉・天野 健一・作花 哲夫
- Y1068 (14:00～15:30) イオン液体|液体合金界面の電気毛管性:GaIn共晶液滴を吊り下げ電極とした懸滴法による測定(京大工¹・京大院工²)○小島 弥朗¹・西 直哉²・天野 健一²・作花 哲夫²
- Y1069 (14:00～15:30) ソリッドコンタクト型鉛イオン選択性電極の高感度化の検討(富山大院理工)○Dao Thi Hong Nhung・細川 直樹・菅野 憲・遠田 浩司
- Y1070 (14:00～15:30) 導電性高分子被覆電極の酸化還元状態と電位安定性-吸収スペクトルに基づく解析-(京工織大院工芸科学¹・京工織大戦略推進機構系²)○日下部 瑛美¹・中村 祐依¹・吉田 裕美¹・福山 真央²・前田 耕治¹
- Y1071 (14:00～15:30) フロークローメトリーを用いる塩化物イオンと硫化物イオンの分別定量(京工織大院工芸科学¹・京工織大工芸科学²・京工織大戦略推進機構系³)○長谷部 万希¹・澤田 真奈美²・福山 真央³・吉田 裕美¹・前田 耕治¹
- Y1072 (14:00～15:30) イオン性蛍光物質の脂質二分子膜透過電流と蛍光強度の同時測定(京工織大院工芸科学¹・京工織大戦略推進機構系²)○大松 照政¹・堀 貴翔¹・吉田 裕美¹・福山 真央²・前田 耕治¹
- Y1073 (14:00～15:30) アセトニトリル中におけるWells-Dawson型金属置換タンゲスト硫酸錯体のボルタンメトリー(高知大理¹・モナッシュ大²)○平原 太陽¹・川本 大介¹・Jie Zhang²・Alan Bond²・柳澤 和道¹・上田 忠治¹
- Y1074 (14:00～15:30) 多孔性金属錯体Cu-BTCによる微量水分オプティカルセンサーの特性向上(熊本大院自然¹・大陽日酸²)○中村 奈央¹・三木 雄輔²・遠藤 仁晃²・松崎 徹¹・大平 慎一¹・廣瀬 泰夫²・戸田 敬¹
- Y1075 (14:00～15:30) 色変化応答型グルコースセンサー用アルキニルBODIPY色素の合成と固定化法の検討(富山大院理工)○山岸 星論・河崎屋 光司・菅野 憲・遠田 浩司
- Y1076 (14:00～15:30) 電解質ゲート有機トランジスタ型化学センサの構築(山形大院理工)○南木 創・南 豪・時任 静士
- Y1077 (14:00～15:30) 白金錯体の電解還元法を利用したDNA計測法の送液システムへの応用(兵庫県大院物質理)○長谷川 倭佳・水谷 文雄・安川 智之
- Y1078 (14:00～15:30) 電気化学-光ファイバーセンサーから得られる酸化還元活性染料の応答特性(富山大院理工(理)¹・前橋工科大²)○山本 高一路¹・織井 達也¹・岡崎 琢也¹・波多 宣子¹・田口 茂¹・菅原 一晴²・倉光 英樹¹
- Y1079 (14:00～15:30) ビスベンゾポロキソールレセプターと機能性色素に基づく糖センシングフィルムの開発(富山大院理工)○日下部 智陽・山川 翔平・菅野 憲・遠田 浩司
- Y1080 (14:00～15:30) DNAアプタマーと金ナノ粒子を用いるオンサイト吸光光度法の開発(静岡県大薬)○福土 南・轟木 堅一郎・水野 初・関 俊哲・豊岡 利正
- Y1081 (14:00～15:30) PGMを用いる抗体医薬の血中薬物濃度センシング法の開発(静岡県大薬)○工藤 悠翔・江田 康拓・中野 達基・轟木 堅一郎・水野 初・関 俊哲・豊岡 利正
- Y1082 (14:00～15:30) 無電解金めっき技術に基づく光ファイバー表面プラズモン共鳴センサーの構築(首都大院都市環境¹・東薬大薬²・メビウスAT³)○中島 美優¹・東海林 敦²・辺見 彰秀³・柳田 顕郎²・中嶋 秀¹・内山 一美¹
- Y1083 (14:00～15:30) マイクロ水滴の自然乳化濃縮における塩濃度の影響(東工大院理工)○周 林・福山 真央・火原 彰秀
- Y1084 (14:00～15:30) 基板上マイクロ液滴表面における界面張力波共鳴の測定(東工大院理工)○遠藤 拓也・火原 彰秀
- Y1085 (14:00～15:30) レドックスサイクル誘導可能な新規CMOS型多点デバイスの開発(東北大院環境¹・日本航空電子²・東北大μ-SIC³・東北大WPI-AIMR⁴)○阿部 博弥¹・伊野 浩介¹・菅野 佑介¹・井上(安田) 久美¹・國方 亮太²・須田 篤史²・松平 昌昭³・珠玖 仁¹・末永 智一¹⁴

- Y1086 (14:00～15:30) 鋸型電極の誘電泳動を利用する細胞の分離・凝集・力覚分析用デバイスの開発(東大院総文広域生命¹・兵庫県大院物質理²) ○吉岡 純矢¹・安川 智之²・吉本 敬太郎¹
- Y1087 (14:00～15:30) LSPRセンサーにおける貴金属ナノ構造体の安定化の検討(東洋大生命¹・理研²・ビーレフェルト大物理³) ○原口 はづき¹・宮下 拓巳¹・竹井 弘之¹・岡本 隆之²・Armin Goelzhaeuser³
- Y1088 (14:00～15:30) 蝶鱗粉のナノ構造を利用したSERS法の検討(東洋大生命¹・ビーレフェルト大学物理²) ○長田 一輝¹・平野 李子¹・竹井 弘之¹・Goelzhaeuser Armin²
- Y1089 (14:00～15:30) 無細胞マイクロ微小循環モデルの開発(東洋大院理工¹・東洋大理工²) ○白井 裕也¹・佐々木 直樹²
- Y1090 (14:00～15:30) コンパクトディスク型マイクロチップを用いる蛍光検出システムの開発と感染症検査への応用(首都大院都市環境¹・メビウスAT²) ○高橋 遼¹・森岡 和大¹・中嶋 秀¹・辺見 彰秀²・曾 湖烈¹・加藤 俊吾¹・内山 一美¹
- Y1091 (14:00～15:30) LC-MSおよびSDS-PAGEを用いた海洋植物プランクトンの鉄応答タンパク質の分離分析(金沢大院自然¹・金沢大理工²) ○工藤 寿馬¹・中川 晃一¹・Md. Mamunur Rahman¹・牧 輝弥²・長谷川 浩²
- Y1092 (14:00～15:30) キャピラリー電気泳動法による分解反応下でのプロピオンの酸解離反応解析(徳島大院先端技術科学¹・徳島大院ソシオテクノ²) ○伊藤 大地¹・高柳 俊夫²
- Y1093 (14:00～15:30) キャピラリー電気泳動法を用いたエステラーゼの加水分解反応の速度論解析(徳島大院先端技術科学¹・徳島大院ソシオテクノ²) ○岡田 英理子¹・高柳 俊夫²
- Y1094 (14:00～15:30) シクロデキストリン修飾キャピラリー電気泳動によるマイクロシステム由来光学活性カルボン酸のキラル分離(金沢大院自然) ○山田 尚希・鳥屋子 やまと・森田 耕太郎・永谷 広久・井村 久則
- Y1095 (14:00～15:30) 泳動液中カウンターイオンを利用した高感度キャピラリー電気泳動法の応用(2)(神戸大院海事科学) ○服部 考成・福士 恵一
- Y1096 (14:00～15:30) 選択的リン酸認識機能を持つドンドリマー型アゾプローブの開発とその世代効果(上智大理工) ○田淵 直人・土戸 優志・藤原 章司・橋本 剛・早下 隆士
- Y1097 (14:00～15:30) ジピコリルアミン型蛍光プローブの金属イオン認識機能に対する置換基効果(上智大理工) ○鈴木 歩・鳥居 靖子・藤原 章司・橋本 剛・早下 隆士
- Y1098 (14:00～15:30) フェニルボロン酸およびルテニウム錯体修飾金微粒子を用いる電気化学的細菌認識方法の開発(上智大理工¹・宇都宮大院工²) ○岸 弓乃¹・土戸 優志¹・遠藤 明¹・橋本 剛¹・上原 伸夫²・早下 隆士¹
- Y1099 (14:00～15:30) ガラス基板上に修飾させたジピコリルアミン型蛍光プローブの設計と機能評価(上智大理工¹・産総研²) ○鳥居 靖子¹・鈴木 歩¹・藤原 章司¹・橋本 剛¹・福田 伸子²・牛島 洋史²・早下 隆士¹
- Y1100 (14:00～15:30) ボロン酸型蛍光プローブ/シクロデキストリンゲルを用いた低濃度における糖識別材料の開発(上智大理工) ○鈴木 崇人・Tewodros Getachew・納富 菜々・土戸 優志・橋本 剛・早下 隆士
- Y1101 (14:00～15:30) イオンクロマトグラフィーによるフッ化水素酸とヘキサフルオロケイ酸の同時定量(徳島大院先端技術科学¹・徳島大院ソシオテクノ²・愛媛大社会連携³) ○橋本直哉¹・高柳 俊夫²・安澤 幹人²・藪谷 智規³
- Y1102 (14:00～15:30) エレクトロスプレーイオン化イオンモビリティ質量分析法によるポリグリコールの分析(名工大理工) ○伊藤 香名子・北川 慎也・大谷 肇
- Y1103 (14:00～15:30) 熱脱着GC/MSによる樹脂中臭素系難燃剤の直接定量分析条件の検討(名工大理工¹・パナソニック²・エコロジネット³) ○王 立飛¹・大谷 肇¹・井口 秀郎²・高木 光司³
- 午後の部(産業界ポスター)**
- P1001S (14:00～15:30) 環境負荷のない簡便・効率的な微量有害元素スクリーニング法の開発(コーセー) ○高井 興・鍛冶 泰子・佐々木 加代・安田 純子・畑 毅・中出 正人・亀山 浩一
- P1002S (14:00～15:30) 溶媒効果を利用した溶液NMRによるポリ乳酸の詳細な立体規則性解析(帝人¹・徳島大ソシオテクノ²・米国農務省農業研究局³・農工大理工⁴) ○菅沼 こと¹・押村 美幸²・平野 朋広²・右手 浩一²・H.N. Cheng³・朝倉 哲郎⁴
- P1003S (14:00～15:30) 材料開発へ貢献するための解析事例紹介(旭化成基盤研) 村上 公也・○菊間 淳
- P1004S (14:00～15:30) TOF-SIMSによるシランカップリング剤とアルミニウム板との反応解析(豊田中研) ○菅沼 義勇・井上 雅枝・光岡 拓哉・須藤 栄一
- P1005S (14:00～15:30) 創薬研究における分析技術-バイオマーカー探索(田辺三菱製薬) ○大橋 徳子・塩谷 正治・間瀬 雅成
- P1006S (14:00～15:30) Direct sample introduction法を用いたGC-TCD/Olfactometryシステムの構築(エスピー食品) ○佐川 岳人・恩田 浩幸・辻屋 由美・林 直子
- P1007S (14:00～15:30) わかめの産地判別技術の開発(理研ビタミン¹・農研機構食総研²) 絵面 智宏¹・○國分 敦子¹・加藤 栄一¹・鈴木 彌生子²
- P1008S (14:00～15:30) JFEスチール(株)における分析・解析技術(JFEスチールスチール研) ○花田 一利
- P1009S (14:00～15:30) 容器開発における分析部門の役割(東洋製罐GHD総合研) ○細野 寛子・平川 叙夫・谷川 弥和子
- P1010S (14:00～15:30) 創薬におけるバイオマーカー研究(エーザイ) ○中村 立二
- P1011S (14:00～15:30) 資生堂の研究開発における分析部門の役割(資生堂グローバルイノベーションセ) ○Ami Kaneshima・Akira Motoyama
- P1012S (14:00～15:30) 分析機器リスクアセスメントの残留リスク対策(迫り来る南海トラフ・首都直下地震の減災方法)(キョウエー¹・セノ²) ○加藤 恒雄¹・小林 英治²
- P1013S (14:00～15:30) GCIBスパッタTOF-SIMSを用いた毛髪最表面の構造解析(花王) ○田村 俊紘・石川 和high・岡本 昌幸
- P1014S (14:00～15:30) 企業での商品開発をリードする分析化学研究(味の素) ○岩畑 大悟・山田 尚之・宮野 博
- P1015S (14:00～15:30) キリンR&D本部における分析部門の役割と今後(キリン基盤研) 楊 箸 爽・○小泉 英樹

- P1016S (14:00～15:30) AGC旭硝子・分析科学チームにおけるソリューション提供型総合解析 (AGC旭硝子) ○柿内 俊文・芹田 紋・伊勢村 次秀
- P1017S (14:00～15:30) 製鉄におけるガス分析技術の開発 (新日鐵住金先端研) ○西藤 将之・辻 典宏
- P1018S (14:00～15:30) リチウムイオン電池の劣化解析とソリューション開発 (東芝研開セ) ○沖 充浩
- P1019S (14:00～15:30) 日産化学工業(株)の研究開発をリードする先端分析研究の紹介 (日産化学工業) ○松原 功達・濱田 聡志
- 第2日 (5月29日)**
- 午前の部**
- P2001 (9:30～11:00) 低流量アルゴンガスICPMSのプラズマ特性とその応用 (アナリティクイエナ ジャパン) ○中澤 隆・加藤 理恵子・仲宗根 麻里・白倉 浩一
- P2002 (9:30～11:00) マイクロ波窒素プラズマ発光分光分析法のプラズマ特性評価と各種金属マトリックス試料中の微量元素分析への応用 (アジレント) ○橋本 文寿・平野 岳史・吉田 由紀・江藤 徹
- P2003 (9:30～11:00) トリプル四重極ICP-MSによるナノ粒子の分析 (アジレントテクノロジー) ○山中 理子・板垣 隆之・Steve Wilbur・島村 佳典・溝渕 勝男
- P2004 (9:30～11:00) チューブ状フィルターを用いた大気浮遊粒子の捕集法および微量元素分析 (産総研計量標準) ○朱 彦北
- P2005 (9:30～11:00) 固体試料直接導入原子吸光法によるリチウム電池用電極材料の迅速測定の検討 (アナリティクイエナ ジャパン) ○仲宗根 麻里・加藤 理恵子・中澤 隆・白倉 浩一
- P2006 (9:30～11:00) 水素化物発生/原子吸光分析におけるセレン等のより安定な測定方法の検討 (日立ハイテクサイエンス) ○山本 和子・米谷 明・坂元 秀之・西村 崇・青木 昌美・白崎 俊浩
- P2007 (9:30～11:00) ICP-MS分析におけるマトリクス起因の酸化物イオンとコリジョン/リアクションセル技術による干渉除去効果 (アジレント) ○鹿籠 康行・姉川 彩・中野 かずみ
- P2008 (9:30～11:00) 促進酸化水中のラジカル濃度モニタの開発 (倉敷紡績技研¹・関学大理工²) ○立花 慎¹・後藤 剛喜²・塩見 元信¹・尾崎 幸洋²
- P2009 (9:30～11:00) 高感度振動分光分析のための銀蒸着膜の清浄化 (埼玉大院理工) ○二又 政之・吉川 英
- P2010 (9:30～11:00) ナノ粒子を利用したプラスチックからの表面増強ラマン (近畿大産業理工) ○河津 博文・鶴飼 佑基
- P2011 (9:30～11:00) フィルター捕集と反射型比色計を用いるモリブデンブルー法によるリン及びヒ素の高感度定量法の開発 (山梨大院総合研究¹・山梨大生命環境²・山梨大教育³・岡山大院自然科学⁴) ○鈴木 保任¹・池田 歩²・山根 兵³・本水 昌二⁴・川久保 進¹
- P2012 (9:30～11:00) 金属材料の二次電子像コントラストと二次電子スペクトルの関係について (物材機構) ○荻原 俊弥・吉川 英樹
- P2013 (9:30～11:00) 奈良絵本「伊勢物語」断片の科学分析 (龍谷大理工) 高橋 瑞紀・岡崎 涼・松中 岩男・藤原 学
- P2014 (9:30～11:00) 蝦夷錦に使用されている金属糸の科学調査 (名大宇宙地球環境研¹・東京文化財研²・函館高専³) ○吉田 滯代¹・早川 泰弘²・中村 和之³
- P2015 (9:30～11:00) 世界遺産三重津海軍所跡 (佐賀) からの出土磁器の産地推定、第3報—志田焼、藩窯磁器、陶石の分析と比較— (佐賀大院工¹・佐賀市教委²) ○田端 正明¹・中野 充²
- P2016 (9:30～11:00) シミュレーションによるイオン液体中の有機化合物の第二還元波の特殊性に関する解析 (岐阜大院連合創薬医療情報¹・岐阜薬大²・金城学院大薬³) ○瀬戸 邦匡^{1,2}・奥村 典子³・中山 辰史²・宇野 文二^{1,2}
- P2017 (9:30～11:00) 電気化学的抗酸化力センサーを用いた日本酒の評価 (高知大理¹・高知工技セ²・高知大農³) ○上田 忠治¹・谷口 美菜¹・赤瀬 早紀¹・上東 治彦²・甫木 嘉朗²・加藤 麗奈²・島村 智子³・受田 浩之³
- P2018 (9:30～11:00) グリシルtRNA合成酵素を認識素子に用いるグリシンの選択的計測 (広島市大院情報) ○釘宮 章光・吉澤 絵美・香田 次郎・中野 靖久・矢野 卓雄・鷹野 優
- P2019 (9:30～11:00) ボロン酸含有薄膜と酵素の組み合わせによる高感度グルコースセンサーの開発 (北見工大) ○兼清 泰正・中橋 一誌
- P2020 (9:30～11:00) ヒト皮膚ガス測定による無侵襲血糖モニターへのアプローチ (II) (ピコデバイス¹・名工大²・凸版印刷³・トッパンTDC⁴・東大病院⁵) ○津田 孝雄¹・大桑 哲男²・塩谷 俊人³・平尾 栄二⁴・飯塚 陽子⁵
- P2021 (9:30～11:00) TG-MSを用いた食用油脂の酸化に関する検討 (リガク) ○細井 宜伸・Lani Llego Celiz・佐藤 博明・有井 忠
- P2022 (9:30～11:00) 木質バイオマス炭化物のVOC吸脱着特性 (神奈川大理¹・AIST²) ○田中 悠平¹・猪股 尚也¹・岡部 敏弘¹・津越 敬寿²・西本 右子¹
- P2023 (9:30～11:00) スキーマインターフェース型示差熱天秤-光イオン化質量分析同時測定手法 (TG-MS) による材料の分解挙動の評価 (リガク) ○有井 忠・細井 宜伸・Celiz, Lani Llego・佐藤 博明
- P2024 (9:30～11:00) スキーマインターフェース接続示差熱天秤-光イオン化質量分析同時測定手法による難燃化樹脂の分解挙動評価 (神戸工試¹・産総研²) ○三島 有二¹・津越 敬寿²
- P2025 (9:30～11:00) Distribution of odor compounds in water taken from Korea and their reference standardization (K-water) Miwha Shin・Yun S. KIM・Jaewon Choi・Sangjin Song
- P2026 (9:30～11:00) LC-QTOF-MSを用いた食物アレルゲン分析法の検討 (アサヒグループホールディングス) ○宮本 靖久・山下 梓・望月 直樹・原山 耕一
- P2027 (9:30～11:00) フラグメントレスイオン化質量分析法によるスナック菓子の製品分析 (神戸工試¹・産総研²) ○三島 有二¹・津越 敬寿²
- P2029 (9:30～11:00) Measurement of carbonyl sulfide (COS) using catalytic hydrolysis by μ Gas analyzer (熊本大院自然¹・太陽日酸²) ○Afnan Mohamed¹・三木 雄輔²・廣瀬 泰夫²・大平 慎一¹・戸田 敬¹

- P2030 (9:30～11:00) フィードバック制御フローレシヨメトリーと振幅変調多重化フロー分析法(徳島大院薬¹・徳島大薬²)○田中 秀治^{1,2}・久保 祐哉²・尾崎 真理²・岡 佐和子²・住友 琢哉²・竹内 政樹^{1,2}
- P2031 (9:30～11:00) ライチ由来低分子ポリフェノール中の抗腫瘍活性成分の分析と腸管吸収性の検討(北海道薬大)○三原 義広・高梨 香織・若命 浩二・伊藤 慎二
- P2032 (9:30～11:00) ノンサプレッサーイオンクロマトグラフィーによる河川中の陽イオン迅速分析(東大工)○藤村 一良・橋本 崇史・滝沢 智
- P2033 (9:30～11:00) 液体クロマトグラフィーに用いるGFC溶離液の改良(東大工)○藤村 一良・Jenyuk Lohwacharin・酒井 宏治・滝沢 智
- P2034 (9:30～11:00) 自動プレカラム誘導体法を用いたアミノ酸および揮発性腐敗アミン類の同時分析(アジレントテクノロジ) 篠原 亘・○見勢 牧男・内藤 厚子・熊谷 浩樹
- P2035 (9:30～11:00) 加速度センサーを用いた衛星運動型高速向流クロマトグラフ装置におけるカラム回転運動の解析(日大薬¹・日大理工²・米国NIH³)○四宮 一総¹・戸倉 幸治²・原田 幸奈¹・在間 一将¹・張替 直輝¹・槻館 悦浩²・伊東 洋一郎³
- P2036 (9:30～11:00) 表面増強ラマン散乱を用いた分離分析用振動分光検出器の開発(3)(右近工舎¹・滋賀県大工²・香川大工³・産総研⁴)○右近 寿一郎¹・Balachandran Jayadevan²・John Cuya²・山本 裕子³・伊藤 民武⁴
- P2037 (9:30～11:00) 液体クロマトグラフィー質量分析による糖質の一斉分析(化研研¹・埼玉大院理工²)○和田 文晴^{1,2}・齋藤 伸吾²・渋谷 雅美²
- P2038 (9:30～11:00) 試料の濡れ乾きに伴い発生するにのびの評価技術開発 その1(豊田中研¹・デンソー²)○伊藤 宏¹・小坂 悟¹・内山 一寿²・大黒 さゆり²
- P2039 (9:30～11:00) 付着したにのびの分析技術開発 第1報(デンソー¹・大和サービス²)○内山 一寿¹・大黒 さゆり¹・加藤 寛²
- P2040 (9:30～11:00) 試料の濡れ乾きに伴い発生するにのびの評価技術開発 その2(デンソー¹・豊田中研²)○大黒 さゆり¹・内山 一寿¹・伊藤 宏²・小坂 悟²
- P2041 (9:30～11:00) ジピコリルアミンを有する蛍光センサーの金属イオン認識(阪教大¹・阪市工研²)○久保 塾 公二¹・門貴美子¹・柏木 行康²・谷 敬太¹・横井 邦彦¹
- P2042 (9:30～11:00) バイオディーゼル燃料認証標準物質(NMIJ CRM 8302-a)の開発における水の精確な値付け(産総研)○稲垣 真輔・沼田 雅彦・北牧 祐子・羽成 修康・岩澤 良子
- P2043 (9:30～11:00) 有害化学物質の探索的・迅速サンプリング手法の予備的検討(国立環境研)○高澤 嘉一
- P2044 (9:30～11:00) 電解質ドープ水中で濃縮された金属イオンのキャラクタリゼーション(東工大院理工)○原田 誠・徳増 宏基・岡田 哲男
- P2045 (9:30～11:00) 山梨県水道水の水質分析と特性評価(徳島文理大理工¹・日本水科研²)○谷川 浩司¹・吉田 知司¹・池田 早苗²
- P2046 (9:30～11:00) 山梨県名水の水質特性評価(徳島文理大理工¹・日本水科研²)○吉田 知司¹・谷川 浩司¹・池田 早苗²
- P2047 (9:30～11:00) LA-ICP-MSを用いたマンガン団塊中のランタノイドのイメージング法の検討(東京海洋大院)○平田 純一・田中 美穂
- P2048 (9:30～11:00) リアルタイムPCRを用いる環境水中Microcystis aeruginosaのモニタリング法と藻類由来有機物の特性評価(京工織大院工芸科学¹・京工織大環境科学セ²・滋賀県琵琶湖環境研³)○藤井 颯¹・水口 裕尊¹・笹井 啓佑¹・布施 泰朗²・石川 可奈子³・岡本 高弘³・早川 和秀³・柄谷 肇¹・山田 悦^{1,2}
- P2049 (9:30～11:00) Rapid determination of ¹³⁵Cs and precise ¹³⁵Cs/¹³⁷Cs atomic ratio in environmental samples and its application in soil and plant contaminated by the FDNPP accident (IREM, Hirosaki Univ.) Guosheng Yang・Hirofumi Tazoe・○Masatoshi Yamada
- P2050 (9:30～11:00) 焼成カルシウムを用いた果実の保存に関する検討(Yoshikawa Sci. Lab.¹・グローバル環境ソリューション²)○吉川 裕泰¹・石澤 徹²・橋本 香澄²・宮浦 喜和²
- P2051 (9:30～11:00) キレート洗浄を用いた土壌スラッジ中鉛含有量の低減化(金沢大理工¹・金沢大院自然²・福島大環放研³・山崎砂利⁴)○長谷川 浩¹・澤井 光²・地井 直行²・牧 輝弥¹・Ismail Md. Mofizur Rahman³・釜本 英一⁴
- P2052 (9:30～11:00) 改正RoHS規制対応のためのフタル酸エステル種一次スクリーニング法の検討(フジクラ)○五十嵐 奈穂子・尾鍋 和憲
- P2053 (9:30～11:00) 高分解能GC/MSによる名古屋市産魚類中の残留性有機汚染物質(POPs)の濃度解析(名古屋市環科セ¹・名古屋市地環課²・名古屋市資源化³)○長谷川 瞳¹・平生 進吾¹・榊原 靖¹・岡村 祐里子¹・大畑 史江¹・近藤 盛英¹・荒川 翔太¹・青山 知由¹・萩野下 進²・新海 義秋³
- P2054T (9:30～11:00) グロー放電質量分析計 Astrum (アストラム)による材料分析—導電性・半導体・絶縁性試料の評価例—(Nu Instruments Japan¹・Nu Instruments Ltd²)○高橋 隆子¹・DeAnn Barnhart²
- P2055 (9:30～11:00) 燃焼-イオンクロマトグラフ法による高分子材料中の全臭素の定量(高知県工技セ)○隅田 隆・鈴木 大進・矢野 雄也・岡崎 由佳
- P2056 (9:30～11:00) pH滴定によるCa²⁺をマーカーにした薬物のアルブミン結合部位推定(金沢大院医薬保)○小谷 明・勝野 次乃・亀井 美緒・竹内 玲奈・黄葉 達人・小川 数馬
- P2057 (9:30～11:00) イオン交換体に固定化したチアカリックスアレーン鉄(III)錯体のPOD様活性を用いる過酸化脂質の定量(岡山理大理)君嶋 美里杏・土屋 貴寛・長江 貴史・藤原 望・佐藤 慎也・猪口 雅彦・○尾堂 順一
- P2058 (9:30～11:00) 汗中アミノ酸分析(東大院薬¹・名大医²・ピコデバイス³)○角田 誠¹・平山 正昭²・大野 欽司²・津田 孝雄³
- P2059 (9:30～11:00) N-acetylneuraminic acidとその酸化体ADOAのHPLC微量分析法について(帝京大薬)川崎 茜・高坂 乃々佳・飯島 亮介・油井 聡・安田 誠・福内 友子・山岡 法子・馬渡 健一・金子 希代子・○中込 和哉

P2060 (9:30～11:00) イネいもち病菌の抗菌法開発を目指したセロビオース脱水素酵素ヘムドメイン含有プロテインの発現(秋田大院工学資源¹・東大院農²) ○松村 洋寿¹・土居 友梨子¹・本間 陽名¹・五十嵐 圭日子²・鮫島 正浩²・尾高 雅文¹・小川 信明¹

P2061 (9:30～11:00) 古代食解明を目的とした調理後炭化物の理化学分析(東医保大栄養¹・森林総研²・食総研³) ○大道 公秀¹・小林 孝洋¹・西念 幸江¹・三舟 隆之¹・中下 留美子²・鈴木 彌生子³

P2062 (9:30～11:00) 教育現場での活用を目指した、ろ紙上に補集された沈殿のスキャン画像の解析による硫酸イオンの簡易定量(上越教大) ○下村 博志・北川 知芳・関 智子

次回、日本分析化学会年会・討論会のお知らせ。

日本分析化学会第65年会

会期:2016年9月14日(水)-16日(金)

会場:北海道大学工学部(札幌市)

ただ今、講演募集中! 講演締切日:6月8日(水)14時

第77回分析化学討論会

会期:2017年5月27日(土)・28日(日)

会場:龍谷大学深草学舎(京都市)

※会期・会場は変更する場合がございます。

上記年会・討論会でもプログラム集の広告掲載・付設展示会・ランチョンセミナーを予定しております。下記までお問い合わせください。

株式会社 明 報 社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4 友野本社ビル

TEL(03)3546-1337 FAX(03)3546-6306

E-mail info@meihosha.co.jp ホームページ <http://www.meihosha.co.jp>